

2019 年度

尾鷲市水道事業  
要覽

# 目 次

I. 水道事業の沿革	
1. 尾鷲市のあゆみ	1
2. 水道事業の沿革	1
II. 機 構	
1. 機構図	2
2. 職員配置状況	2
3. 事務分掌	2
III. 配水・給水	
1. 事業別取水内訳	3
2. 上水道月別配水量	3
3. 給水状況の推移	4
4. 口径別給水件数	5
5. 口径別使用量	6
6. 使用量別集計	7
7. 年度別件数/使用量/使用料金の推移	8～9
8. 水道料金表	10
9. 水道料金分析表	11
10. 料金徴収方法別件数	11
11. 検針員及び徴収員の人数	11
12. 漏水事故発生件数	12
13. 給水加入状況	13
14. 管路延長	14～16
IV. 財務状況	
1. 損益計算書	17
2. 貸借対照表	18～19
3. 資本的収支	20
4. 費用構成表【年度別】	21
5. 費用構成表	22
6. 企業債の概要	23
V. 経営分析	
1. 資産及び資本構成比率	24
2. 回転率	25
3. 損益に関する比率	26
4. その他比率	27
5. 経営指標一覧表	28～34
VI. 施設概要	
1. 水源施設数	35
2. 各施設ポンプ能力	36
3. 電力使用量	37
4. 配水池・ポンプ井貯水能力一覧表	38
5. 施設住所	39
VII. 設備	
1. 上水道	40～46
2. 簡易水道	47～53

# I. 水道事業の沿革

## 1. 尾鷲市のあゆみ

尾鷲市は、三重県南部東紀州地域の中央に位置し、市域は東西21km、南北19kmで、総面積は192.71km<sup>2</sup>を有しています。

歴史的には、江戸時代に林業、漁業を中心に繁栄し、江戸や大阪へ回船が行き来することで、昭和初期まで栄えてきました。

戦後、1954年(昭和29年)に尾鷲町、須賀利村、九鬼村、北輪内村、南輪内村が合併して、現在の尾鷲市が誕生し、その後、日本の経済成長とともに、水力発電所建設に始まり、国鉄紀勢本線の全面開通、尾鷲三田火力発電所の建設、国道42号の大改修などのビッグプロジェクトを経て、人口や経済が進展し、本市の基盤を形成しました。

しかし、その後のいわゆる「高度経済成長期」以降においては、尾鷲市から大都市に向かって若い人たちが流出し始め、過疎・高齢化による漁業、林業の後継者不足が進み、継続的に人口が減少しています。これまでも、さまざまな対策を行ってきましたが、過疎・少子高齢化に歯止めをかけることはできず、経済活動の縮小による企業の撤退や商店の閉鎖などが続いています。

尾鷲市には、美味しい魚や尾鷲ヒノキ、海洋深層水、熊野古道など海・山の資源や未開発の自然などの魅力がたくさんあります。この資源や魅力を活用し、市民と行政が力を合わせ、共に知恵を出し合い、また、外部(産学、来訪者など)の協力を得ることで、まちに活気を取り戻し、市民や訪れる人々が幸せや心の豊かさを得られるまちにすることが大切です。

このような中、本市においては、2012年度(平成24年度)より2021年度(平成33年度)を目標年度とした第6次尾鷲市総合計画を策定し、将来の都市像を「共に創り 未来につながる 誇れるまち おわせ」として、市民一人ひとりが、尾鷲市の資源・魅力に愛着や誇りを持ち、それらを活かしたまちづくりを行っていくことが、新たな尾鷲市の歴史を築いていく原動力となり、尾鷲が尾鷲らしく輝けるまち、ふるさととして誇れるまち、子や孫と共に暮せるまち、住みよいまちを、市民と行政が共に創り、次の世代につなげていくことを目標にまちづくりに取り組んでいます。

## 2. 水道事業の沿革

尾鷲市には、現在、上水道事業の他に、須賀利簡易水道事業、九鬼簡易水道事業、早田簡易水道事業、三木浦簡易水道事業、三木里簡易水道事業、賀田・古江簡易水道事業、曾根簡易水道事業、梶賀簡易水道事業の8簡易水道事業が存在しています。

上水道事業は、上水道認可を1960年3月(昭和35年)に創設し、その後、国鉄紀勢本線の全線開通及び尾鷲第二水力発電所完成に伴い1961年12月(昭和36年)、事業変更により計画給水人口20,000人、日最大給水量10,000m<sup>3</sup>/日となり、市勢の発展とともに需要水量も増加してきました。

1978年3月(昭和53年)に第1次拡張事業認可により、馬越簡易水道、大曾根簡易水道、行野簡易水道を上水道に統合し、計画給水人口26,000人、日最大給水量20,000m<sup>3</sup>/日とし、送配水施設の整備を行ってきました。

その後、人口減少などに伴う水需要の低迷のため、計画の見直しをはかり、1982年3月(昭和57年)に第1次拡張第1次変更事業認可、2003年3月(平成15年)に第1次拡張第2次変更認可、2013年3月(平成25年)に第1次拡張第3次変更事業届出書により、計画給水人口16,500人、日最大給水量14,500m<sup>3</sup>/日となっております。その後、2015年11月(平成27年)には、上水道の水源となる第2号井が撤去となったため、第1次拡張第4次変更事業届出書により、廃止をいたしました。

今後は南海トラフ巨大地震などの大規模災害の発生が予想されるなか、将来にわたって安全でおいしい水を安定供給するため、水道施設の老朽化や、地震災害対策を計画的に推進するとともに、良質な水道水源確保のための水質保全を積極的に推進する必要があります。

## Ⅱ. 機構

### 1. 機構図



### 2. 職員配置状況

所属	事務	技師	計
部長	1		1
次長兼係長	1		1
主幹兼係長			
係長		1	1
総務係	2		2
工務係		2	2
送水場係		2	2
計	4	5	9

### 3. 事務分掌

#### 総務係

- (1) 業務の総合調整に関する事。
- (2) 職員の身分取扱に関する事。
- (3) 予算、決算に関する事。
- (4) 出納その他の会計事務に関する事。
- (5) 契約に関する事。
- (6) 資産の管理に関する事。(ただし貯蔵品の管理を除く。)
- (7) 広報宣伝に関する事。
- (8) 文書及び公印の管理に関する事。
- (9) 業務統計に関する事。
- (10) 量水器の点検に関する事。
- (11) 水道料金の調定及び徴収に関する事。
- (12) その他の係の所掌に属しない事。

#### 工務係

- (1) 水道施設の企画設計及び工事施行に関する事。
- (2) 水道施設の維持管理に関する事。(ただし送水場及び加圧施設を除く。)
- (3) 給水装置に関する事。
- (4) 貯蔵品の管理に関する事。
- (5) その他水道施設に関する事。

#### 送水場係

- (1) 水道用水の浄水、送水並びに供給に関する事。
- (2) 給水記録の整理報告に関する事。
- (3) 送水場及び加圧施設に関する事。
- (4) その他送水施設に関する事。

### Ⅲ. 配水・給水

#### 1. 事業別取水内訳

施設名	取水方法	施設数	公称能力 (m <sup>3</sup> /日)	取水量(m <sup>3</sup> )	1日平均 取水量(m <sup>3</sup> )
上水道	伏流水	2	10,000	2,433,855	6,650
	浅井戸	3	2,580	606,306	1,657
上水道 計		5	12,580	3,040,161	8,306
須賀利簡易水道	浅井戸	2	297	41,671	114
九鬼簡易水道	表流水	1	495	65,836	180
早田簡易水道	表流水	1	81	12,700	35
三木浦簡易水道	表流水	2	326	66,079	181
三木里簡易水道	伏流水	1	643	119,624	327
賀田・古江簡易水道	浅井戸	2	1,000	222,786	609
曾根簡易水道	表流水	1	84	25,102	69
梶賀簡易水道	表流水	1	152	20,767	57
簡易水道 計		11	3,078	574,565	1,570
合計		16	15,658	3,614,726	9,876

#### 2. 上水道月別配水量

年 月	区分	配水量 (m <sup>3</sup> )	1日平均 配水量(m <sup>3</sup> )	1日最大 配水量(m <sup>3</sup> )
平成 28 年度		3,334,689	9,136	10,969
平成 29 年度		3,250,993	8,907	10,883
平成 30 年度		3,187,499	8,730	9,562
平成 31 年 4 月		259,949	8,665	8,833
令和元年 5 月		257,029	8,291	9,150
令和元年 6 月		261,708	8,724	8,808
令和元年 7 月		249,559	8,050	9,479
令和元年 8 月		262,671	8,473	9,364
令和元年 9 月		267,834	8,928	8,560
令和元年 10 月		241,024	7,775	8,526
令和元年 11 月		248,932	8,298	8,633
令和元年 12 月		248,779	8,025	9,196
令和 2 年 1 月		264,008	8,516	8,696
令和 2 年 2 月		250,844	8,650	8,262
令和 2 年 3 月		227,824	7,349	8,734
令和元年度 計		3,040,161	8,306	9,479
増加量		-147,338	-424	-83
増加率(%)		-4.62	-4.86	-0.87

### 3. 給水状況の推移

#### (1)年度別

項目 \ 年度	H26	H27	H28	H29	H30	R01
計画給水人口(人)	26,900	26,900	26,900	26,900	26,900	26,900
行政区域内人口(人)	19,321	18,948	18,547	18,167	17,774	17,421
給水人口(人)	19,297	18,928	18,527	18,153	17,760	17,409
水道普及率(%)	99.8	99.8	99.8	99.9	99.9	99.9
給水戸数(戸)	9,764	9,645	9,566	9,473	9,396	9,290
給水件数(件)	10,847	10,721	10,488	10,374	10,374	10,112
配水量(千m <sup>3</sup> /年)	4,159	3,910	4,006	3,866	3,781	3,615
有収水量(千m <sup>3</sup> /年)	2,942	2,780	2,818	2,677	2,578	2,458
有収率(%)	70.74	71.10	70.34	69.25	68.17	68.01
給水原価(円/m <sup>3</sup> )	172.01	176.10	162.75	173.75	181.46	180.80
供給単価(円/m <sup>3</sup> )	185.10	183.71	184.51	183.22	183.23	182.02
1日平均配水量(m <sup>3</sup> )	11,394	10,684	10,976	10,592	10,535	9,876
1日最大配水量(m <sup>3</sup> )	15,019	16,110	13,708	13,204	13,176	11,510

#### (2)令和元年度事業別

項目 \ 事業	上水	須賀利	九鬼	早田	三木浦	三木里	賀田古江	曾根	梶賀
計画給水人口(人)	16,500	1,000	2,200	270	1,160	1,670	2,500	700	900
行政区域内人口(人)	14,467	206	419	121	508	551	867	133	149
給水人口(人)	14,456	206	419	121	508	550	867	133	149
水道普及率(%)	99.9	100	100	100	100	99.8	100	100	100
給水戸数(戸)	7,459	137	267	85	298	341	523	89	91
給水件数(件)	7,952	187	333	97	321	390	612	97	123
配水量(千m <sup>3</sup> /年)	3,040	42	66	13	66	119	223	25	21
有収水量(千m <sup>3</sup> /年)	2,108	20	49	12	54	78	105	17	15
有収率(%)	69.32	47.70	74.05	98.23	81.28	65.09	47.34	68.41	74.48
給水原価(円/m <sup>3</sup> )	170.69	241.58							
供給単価(円/m <sup>3</sup> )	182.31	180.33							
1日平均配水量(m <sup>3</sup> )	8,306	114	180	35	181	327	609	69	57
1日最大配水量(m <sup>3</sup> )	9,479	192	225	41	232	415	773	83	70

#### 4. 口径別給水件数

##### (1) 年度別

口径 \ 年度	H26	H27	H28	H29	H30	R01
φ 13	9,643	9,537	9,313	9,204	9,074	8,972
φ 20	914	893	885	882	871	849
φ 25	140	140	140	139	141	142
φ 30	51	52	51	49	50	49
φ 40	55	55	55	56	55	58
φ 50	33	33	33	33	34	33
φ 75	8	8	8	8	8	7
φ 100	2	2	2	2	2	1
φ 150	0	0	0	0	0	0
φ 200	0	0	0	0	0	0
φ 250	1	1	1	1	1	1
合計	10,847	10,721	10,488	10,374	10,236	10,112

##### (2) 令和元年度事業別

口径 \ 事業	上水	須賀利	九鬼	早田	三木浦	三木里	賀田古江	曾根	梶賀
φ 13	6,951	177	310	94	303	362	572	87	116
φ 20	755	7	17	1	10	20	30	5	4
φ 25	117	3	3	1	6	2	5	3	2
φ 30	40	0	2	0	1	3	1	1	1
φ 40	50	0	1	1	1	2	2	1	0
φ 50	31	0	0	0	0	0	2	0	0
φ 75	6	0	0	0	0	1	0	0	0
φ 100	1	0	0	0	0	0	0	0	0
φ 150	0	0	0	0	0	0	0	0	0
φ 200	0	0	0	0	0	0	0	0	0
φ 250	1	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	7,952	187	333	97	321	390	612	97	123

5. 口径別使用量

(1) 年度別

[単位:千m<sup>3</sup>]

口径 \ 年度	H26	H27	H28	H29	H30	R01
φ 13	1,860	1,796	1,770	1,739	1,688	1,651
φ 20	244	236	242	237	230	224
φ 25	101	95	95	90	90	95
φ 30	78	71	67	66	70	83
φ 40	140	130	135	130	127	131
φ 50	199	174	172	182	204	173
φ 75	106	102	107	103	94	85
φ 100	14	10	12	8	13	9
φ 150	0	0	0	0	0	0
φ 200	0	0	0	0	0	0
φ 250	200	166	218	122	62	7
合計	3,057	2,942	2,780	2,818	2,578	2,458

(2) 令和元年度事業別

[単位:千m<sup>3</sup>]

事業 \ 口径	上水	須賀利	九鬼	早田	三木浦	三木里	賀田古江	曾根	梶賀
φ 13	1,367	19	39	12	50	55	86	11	12
φ 20	202	1	2	0	1	6	10	1	1
φ 25	70	0	4	0	2	14	1	3	1
φ 30	80	0	0	0	1	1	0	0	1
φ 40	121	0	4	0	0	1	3	2	0
φ 50	168	0	0	0	0	0	5	0	0
φ 75	84	0	0	0	0	1	0	0	0
φ 100	9	0	0	0	0	0	0	0	0
φ 150	0	0	0	0	0	0	0	0	0
φ 200	0	0	0	0	0	0	0	0	0
φ 250	7	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	2,108	20	49	12	54	78	105	17	15



## 6. 使用量別集計

### (1) 上水道

使用量区分	件数	使用量[m <sup>3</sup> ]
0 m <sup>3</sup> ~10 m <sup>3</sup>	3,189	760,606
11 m <sup>3</sup> ~20 m <sup>3</sup>	2,264	476,001
21 m <sup>3</sup> ~30 m <sup>3</sup>	1,521	228,652
31 m <sup>3</sup> ~50 m <sup>3</sup>	733	135,546
51 m <sup>3</sup> ~100 m <sup>3</sup>	156	90,587
101 m <sup>3</sup> ~500 m <sup>3</sup>	70	204,566
501 m <sup>3</sup> 以上	19	211,540
合計	7,952	2,107,498

### (2) 簡易水道

使用量区分	件数	使用量[m <sup>3</sup> ]
0 m <sup>3</sup> ~10 m <sup>3</sup>	1,273	176,837
11 m <sup>3</sup> ~20 m <sup>3</sup>	560	84,266
21 m <sup>3</sup> ~30 m <sup>3</sup>	215	31,801
31 m <sup>3</sup> ~50 m <sup>3</sup>	86	17,204
51 m <sup>3</sup> ~100 m <sup>3</sup>	12	12,357
101 m <sup>3</sup> ~500 m <sup>3</sup>	13	25,939
501 m <sup>3</sup> 以上	1	2,383
合計	2,160	350,787

### (3) 合計

使用量区分	件数	使用量[m <sup>3</sup> ]
0 m <sup>3</sup> ~10 m <sup>3</sup>	4,462	937,443
11 m <sup>3</sup> ~20 m <sup>3</sup>	2,824	560,267
21 m <sup>3</sup> ~30 m <sup>3</sup>	1,736	260,453
31 m <sup>3</sup> ~50 m <sup>3</sup>	819	152,750
51 m <sup>3</sup> ~100 m <sup>3</sup>	168	102,944
101 m <sup>3</sup> ~500 m <sup>3</sup>	83	230,505
501 m <sup>3</sup> 以上	20	213,923
合計	10,112	2,458,285

7. 年度別件数・使用量・使用料金の推移

(1) 上水道

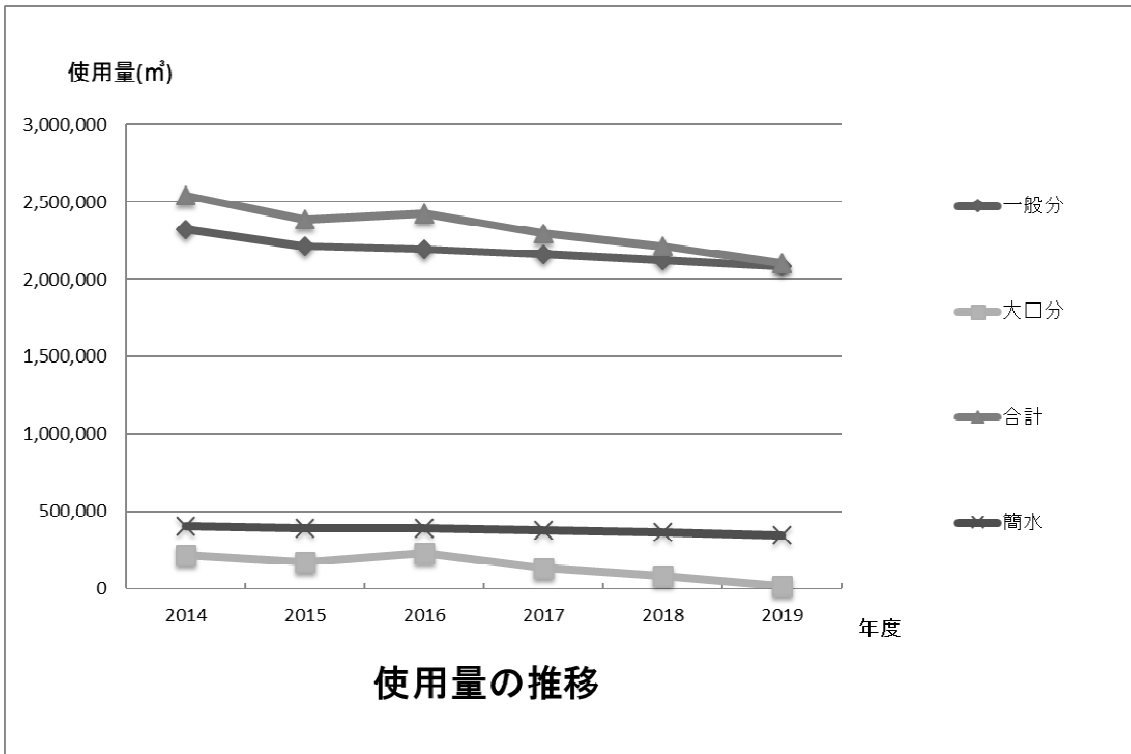
[単位：件・m<sup>3</sup>・千円]

事業		年度	H26	H27	H28	H29	H30	R01
一般分	件数		100,690	99,986	98,706	97,626	96,591	95,938
	使用量		2,321,852	2,211,012	2,193,356	2,160,436	2,126,676	2,084,800
	使用料金		445,111	424,062	421,040	415,125	410,282	405,952
大口分	件数		60	60	60	60	61	77
	使用量		216,205	177,713	231,498	135,224	86,149	22,698
	使用料金		60,696	51,463	64,536	41,168	29,258	12,183
合計	件数		100,750	100,046	98,766	97,686	96,652	96,015
	使用量		2,538,057	2,388,725	2,424,854	2,295,660	2,212,825	2,107,498
	使用料金		505,807	475,525	485,576	456,293	439,450	418,135

(2) 簡易水道

[単位：件・m<sup>3</sup>・千円]

事業		年度	H26	H27	H28	H29	H30	R01
須賀利	件数		2,623	2,555	2,436	2,357	2,335	2,234
	使用量		25,254	24,580	23,832	21,643	21,036	19,879
	使用料金		4,811	4,706	4,571	4,198	4,170	3,921
九鬼	件数		4,598	4,494	4,338	4,264	4,145	4,089
	使用量		54,222	49,263	47,803	47,094	46,394	48,755
	使用料金		10,703	9,840	9,411	9,275	9,220	10,067
早田	件数		1,379	1,390	1,376	1,280	1,225	1,182
	使用量		15,601	15,832	15,444	13,894	12,354	12,475
	使用料金		2,858	2,964	2,894	2,582	2,391	2,411
三木浦	件数		4,467	4,429	4,307	4,177	4,073	3,929
	使用量		64,763	62,175	62,487	60,645	57,609	53,708
	使用料金		11,598	11,193	10,952	10,616	10,040	9,306
三木里	件数		5,238	5,175	4,998	4,953	4,906	4,846
	使用量		79,902	79,348	79,231	82,330	80,224	77,865
	使用料金		15,747	15,659	15,679	16,444	15,909	15,642
古江 賀田	件数		9,072	8,838	8,360	8,047	7,812	7,569
	使用量		126,033	123,272	125,950	118,403	112,465	105,465
	使用料金		24,729	24,297	24,844	22,861	21,734	20,541
曾根	件数		1,492	1,452	1,356	1,323	1,288	1,231
	使用量		19,943	19,163	19,224	19,325	18,308	17,173
	使用料金		4,099	3,979	3,974	4,025	3,881	3,670
梶賀	件数		1,480	1,486	1,494	1,496	1,475	1,461
	使用量		18,167	18,090	18,989	18,021	16,531	15,467
	使用料金		3,503	3,509	3,596	3,417	3,210	3,260
合計	件数		30,349	29,819	28,665	27,897	27,259	26,541
	使用量		403,885	391,723	392,960	381,355	364,921	350,787
	使用料金		78,048	76,147	75,921	73,418	70,555	68,818



8. 水道料金表

(1) 水道加入金及び器具単価表

2019年10月1日改正

口径	量水器加入金			φ13mm	φ20mm
13 mm	55,000 円			3,310 円	4,660 円
20 mm	99,000 円			3,150 円	4,320 円
25 mm	165,000 円			φ13mm 一式	φ20mm 一式
30 mm	242,000 円				
40 mm	440,000 円			加入金	55,000 円
50 mm	715,000 円			直結止水栓	3,310 円
75 mm	1,540,000 円			メーターボックス	3,150 円
100 mm以上は市長がその都度定める				設計審査および 工事検査手数料	3,000 円
設計審査及び工事検査手数料		新設	変更等工事	合計	64,460 円
口径					110,980 円
13~20 mm		3,000 円	1,500 円		
25~40 mm		4,500 円	2,300 円		
50 mm		6,000 円	3,000 円		

※上記価格は消費税(8%)込みの価格となります。

(2) 水道料金一覧表 (消費税率10%)

2019年10月1日改正

用途	口径	基本料金		従量料金 (円) (1 m <sup>3</sup> 当たり)					
		水量	料金 (円)	10 m <sup>3</sup> 超 ~30 m <sup>3</sup> 以下	30 m <sup>3</sup> 超 ~50 m <sup>3</sup> 以下	50 m <sup>3</sup> 超 ~80 m <sup>3</sup> 以下	80 m <sup>3</sup> 超 ~150 m <sup>3</sup> 以下	150 m <sup>3</sup> 超 ~200 m <sup>3</sup> 以下	200 m <sup>3</sup> 超 ~
一般	13 mm	10 m <sup>3</sup> 以下	1,210.00	187.00	198.00	209.00	236.50	242.00	247.50
	20 mm		1,419.00						
	25 mm		2,673.00						
	30 mm		4,070.00						
	40 mm		8,789.00						
	50 mm		19,327.00						
	75 mm		36,256.00						
	100 mm		70,719.00						
	150 mm		151,404.00						
	250 mm		602,019.00						
臨時		1 m <sup>3</sup> 以下	1,032.90	1 m <sup>3</sup> 超	442.2				

私設消火栓 (演習用) 1回 218.16 円 ただし、1回5分間を超えることはできない。

※【水道料金】 = 【基本料金】 + 【従量料金】 (1円未満の端数は切り捨て)

## 9.水道料金分析表

### (1) 上水道〔一般分〕

年度	月1件当り使用水量	月1件当り水道料金	月1m <sup>3</sup> 当り水道料金
平成24年度	23.91 m <sup>3</sup>	4,474.51 円	187.13 円
平成25年度	23.83 m <sup>3</sup>	4,460.39 円	187.18 円
平成26年度	23.06 m <sup>3</sup>	4,420.61 円	191.70 円
平成27年度	22.11 m <sup>3</sup>	4,241.14 円	191.82 円
平成28年度	22.22 m <sup>3</sup>	4,265.60 円	191.97 円
平成29年度	22.13 m <sup>3</sup>	4,252.20 円	192.15 円
平成30年度	22.89 m <sup>3</sup>	4,547.65 円	198.63 円
令和元年度	21.73 m <sup>3</sup>	4,231.40 円	194.72 円

### (2) 簡易水道

年度	月1件当り使用水量	月1件当り水道料金	月1m <sup>3</sup> 当り水道料金
平成24年度	14.32 m <sup>3</sup>	2,681.10 円	187.27 円
平成25年度	13.93 m <sup>3</sup>	2,614.48 円	187.69 円
平成26年度	13.31 m <sup>3</sup>	2,571.68 円	193.21 円
平成27年度	13.14 m <sup>3</sup>	2,553.65 円	194.34 円
平成28年度	13.71 m <sup>3</sup>	2,648.56 円	193.18 円
平成29年度	13.67 m <sup>3</sup>	2,631.75 円	192.52 円
平成30年度	13.39 m <sup>3</sup>	2,588.32 円	193.34 円
令和元年度	13.22 m <sup>3</sup>	2,592.89 円	196.18 円

## 10. 料金徴収方法

	上水道		簡易水道		合計	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
口座振替	5,911	74.33%	1,881	87.08%	7,792	77.05%
クレジット	515	6.48%	34	1.57%	549	5.43%
集金	290	3.65%	62	2.87%	352	3.48%
納付書	1,197	15.05%	151	6.99%	1,348	13.33%
その他	39	0.49%	32	1.48%	71	0.70%
合計	7,952	100.00%	2,160	100.00%	10,112	100.00%

## 11. 検針員及び徴収員の人数

業務	地区名									合計
	上水	須賀利	九鬼	早田	三木浦	三木里	古江	賀田	曾根・梶賀	
検針	1	1	0	0	0	1	0	1	1	5
徴収	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
検針兼徴収	2	0	0	1	1	0	1	0	0	5
合計	3	1	0	1	1	1	1	1	1	10

※九鬼地区については、上水担当者が兼務

1.2. 漏水事故発生件数

業務	地区名	上水	須賀利	九鬼	早田	三木浦	三木里	古江	賀田	曾根	梶賀	合計
平成 26 年度	本管	19	4	0	0	0	0	0	3	1	0	27
	取出	94	2	4	0	5	1	3	5	3	1	118
	送水管											0
	施設	1										1
	合計	114	6	4	0	5	1	3	8	4	1	146
平成 27 年度	本管	14	0	0	2	3	1	0	1	1	0	22
	取出	53	6	4	5	4	6	1	9	3	3	94
	送水管									1		1
	施設											
	合計	67	6	4	7	7	7	1	10	5	3	117
平成 28 年度	本管	21	7	0	0	0	1	1	1	1	0	32
	取出	39	3	1	3	5	6	5	4	1	0	67
	送水管	1										1
	施設											
	合計	61	10	1	3	5	7	6	5	2	0	100
平成 29 年度	本管	27	5	0	0	4	4	1	5	4	1	51
	取出	181	9	6	8	6	6	10	20	6	6	258
	送水管											
	施設											
	合計	208	14	6	8	10	10	11	25	10	7	309
平成 30 年度	本管	25	4	0	0	1	0	1	1	2	1	35
	取出	110	7	5	0	4	3	6	14	4	3	156
	送水管											
	施設											
	合計	135	11	5	0	5	3	7	15	6	4	191
令和元年度	本管	23	6	1	0	2	1	0	0	2	0	35
	取出	111	7	8	1	4	1	6	13	5	2	158
	送水管											
	施設											
	合計	134	13	9	1	6	2	6	13	7	2	193

本管：配水管本管・支管

取出：給水管・止水栓・量水器

1.3. 給水加入状況

(1) 年度別

[単位：件]

年度 口径	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01
φ 13	39	45	48	40	34	45	28	25	23
φ 20	0	3	9	7	3	6	2	2	2
φ 25	1	0	0	0	3	1	0	1	4
φ 30	0	0	1	3	1	2	0	1	0
φ 40	0	0	1	1	2	1	1	0	1
φ 50	0	0	0	0	0	0	0	1	0
φ 75	0	0	0	0	0	0	0	0	0
φ 100	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	40	48	59	51	43	55	31	30	30

(2) 令和元年度事業別

[単位：件]

年度 口径	上水	須賀利	九鬼	早田	三木浦	三木里	賀田 古江	曾根	梶賀
φ 13	23	0	0	0	0	0	0	0	0
φ 20	2	0	0	0	0	0	0	0	0
φ 25	3	0	1	0	0	0	0	0	0
φ 30	0	0	0	0	0	0	0	0	0
φ 40	1	0	0	0	0	0	0	0	0
φ 50	0	0	0	0	0	0	0	0	0
φ 75	0	0	0	0	0	0	0	0	0
φ 100	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	29	0	1	0	0	0	0	0	0

口径変更

φ 20→φ 40	1	0	0	0	0	0	0	0	0
-----------	---	---	---	---	---	---	---	---	---

#### 14. 管路延長

##### (1) 上水道口径別延長

[単位：m]

口径		年度					
		H26	H27	H28	H29	H30	R01
導水管	300 mm未満	290	172	172	172	172	172
	300～500 mm未満	132	132	132	132	132	132
	500～1,000 mm未満	85	85	85	85	85	85
	計	507	389	389	389	389	389
送水管	300 mm未満	106	109	139	1,120	1,120	1,120
	300～500 mm未満	1,313	1,313	1,283	1,040	1,040	1,040
	計	1,419	1,422	1,422	2,160	2,160	2,160
配水管	50 mm以下	27,823	27,823	27,825	49,525	48,822	48,860
	75 mm	33,390	33,390	33,313	32,837	32,133	32,213
	100 mm	24,812	24,812	24,812	25,828	25,828	25,760
	125 mm	2,764	2,764	2,764	384	385	385
	150 mm	13,467	13,467	13,542	16,358	16,369	16,369
	200 mm	3,720	3,720	3,720	3,934	3,934	3,934
	250 mm	126	126	126	711	711	711
	300 mm	10,076	10,076	10,076	9,225	9,225	9,225
	350 mm	0	0	0	729	729	729
	400 mm	771	771	771	947	947	947
	450 mm	0	0	0	0	0	0
	500 mm	312	312	312	267	267	267
	700 mm	13	13	13	129	129	129
	計	117,274	117,274	117,274	140,874	139,479	139,529
合計		119,124	119,203	119,085	143,423	142,028	142,078

【導水管】 水源から浄水場までの配管

【送水管】 浄水場から配水池までの配管

【配水管】 配水池から各家庭までの配管



## (2) 上水道管種別延長

[単位：m]

管種		年度						
		H26	H27	H28	H29	H30	R01	
導水管	ダクタイル鋳鉄管	507	507	389	389	389	389	
	計	507	507	389	389	389	389	
送水管	ダクタイル鋳鉄管	1,059	1,084	1,084	1,289	1,289	1,289	
	鋼管	338	338	338	35	35	35	
	硬質塩化ビニル管	0	0	0	350	350	350	
	ポリエチレン管	0	0	0	440	440	440	
	ステンレス管	0	0	0	46	46	46	
	計	1,422	1,422	1,422	2,160	2,160	2,160	
配水管	本管	鋳鉄管	0	0	0	1,894	1,894	1,894
		ダクタイル鋳鉄管	16,108	16,105	16,105	20,965	20,965	20,922
		鋼管	1,454	1,390	1,400	6,969	6,344	6,167
		石綿セメント管	0	0	0	0	0	0
		硬質塩化ビニル管	13,491	13,266	13,012	103,252	101,904	101,885
		ポリエチレン管	2,595	2,887	3,131	7,589	8,167	8,456
		ステンレス管	127	127	127	205	205	205
		その他	0	0	0	0	0	0
		計	33,775	33,775	33,775	140,874	139,479	139,529
	支管	鋳鉄管	0	0	0	0	0	0
		ダクタイル鋳鉄管	8,211	8,211	8,211	0	0	0
		鋼管	3,474	3,474	3,474	0	0	0
		石綿セメント管	378	378	378	0	0	0
		硬質塩化ビニル管	70,520	70,520	70,520	0	0	0
		ポリエチレン管	905	905	905	0	0	0
		ステンレス管	11	11	11	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0	0
		計	83,499	83,499	83,499	0	0	0
計	117,274	117,274	117,274	140,874	139,479	139,529		
合計		119,085	119,085	119,085	143,423	142,028	142,078	

## (3) 簡易水道管種別延長

[単位：m]

管種		地区							
		須賀利	九鬼	早田	三木浦	三木里	賀田古江	曾根	梶賀
導水管	ダクタイル鋳鉄管	0	0	0	0	0	0	0	0
	鋼管	0	28	33	0	0	0	400	25
	硬質塩化ビニル管	0	0	0	842	0	0	0	0
	ポリエチレン管	0	0	181	0	0	0	0	605
	計	0	28	214	842	0	0	400	630
送水管	鋳鉄管	0	0	0	0	0	0	0	0
	ダクタイル鋳鉄管	0	1,113	0	3,187	519	0	0	0
	鋼管	0	125	0	0	0	300	0	0
	その他	0	738	0	0	0	0	0	0
	計	0	1,976	0	3,187	519	300	0	0
配水管	鋳鉄管	0	0	0	0	0	0	0	0
	ダクタイル鋳鉄管	819	0	1,635	620	2,604	2,128	0	0
	鋼管	0	3,097	0	55	0	3,208	1,591	727
	石綿セメント管	0	0	0	0	0	0	0	0
	硬質塩化ビニル管	1,416	2,782	530	5,188	8,093	10,209	707	703
	コンクリート管	0	0	0	0	0	0	0	0
	鉛管	0	0	0	0	0	0	0	0
	ポリエチレン管	701	28	0	604	63	631	370	30
	ステンレス管	0	139	0	0	0	30	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	2,936	6,046	2,165	6,467	10,760	16,206	2,668	1,460
合計	2,936	8,050	2,379	10,496	11,279	16,506	3,068	2,090	

## (4) 管種別延長合計

[単位：m]

管種	事業		
	上水道	簡易水道	合計
導水管	389	2,114	2,503
送水管	2,160	5,982	8,142
配水管	139,529	48,708	188,237
合計	142,078	56,804	198,882

## IV. 財務状況

### 1. 損益計算書

[単位：千円]

科目	年度	平成 29 年度		平成 30 年度		令和元年度		
		金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	
収益	営業収益	494,144	92.71%	475,965	93.21%	451,200	92.94%	
	給水収益	490,474	92.02%	472,310	92.49%	447,452	92.16%	
	受託工事収益	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	
	他会計負担金	2,869	0.54%	2,978	0.59%	3,087	0.64%	
	その他営業収益	801	0.15%	677	0.13%	661	0.14%	
	営業外収益	38,878	7.29%	34,693	6.79%	34,300	7.06%	
	受取利息及び配当金	216	0.04%	147	0.03%	131	0.03%	
	他会計補助金	3,149	0.59%	2,756	0.54%	2,536	0.52%	
	長期前受金戻入	17,582	3.30%	17,649	3.46%	17,547	3.61%	
	資本費繰入収益	15,494	2.90%	11,826	2.31%	9,875	2.03%	
	雑収益	2,437	0.46%	2,315	0.45%	4,211	0.87%	
	合計	533,022	100.00%	510,658	100.00%	485,500	100.00%	
	費用	営業費用	424,784	87.88%	431,655	88.86%	412,558	89.23%
		原水及び浄水費	77,537	16.04%	80,335	16.54%	68,677	14.85%
配水及び給水費		48,481	10.03%	45,513	9.37%	45,375	9.82%	
受託給水工事費		0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	
業務費		42,905	8.88%	40,137	8.26%	43,785	9.47%	
総係費		42,743	8.84%	42,248	8.69%	38,464	8.32%	
減価償却費		209,346	43.31%	213,858	44.03%	212,496	45.96%	
資産減耗費		3,325	0.69%	9,206	1.90%	3,406	0.74%	
その他営業費用		447	0.09%	358	0.07%	355	0.07%	
営業外費用		58,592	12.12%	54,102	11.14%	49,813	10.77%	
支払利息		58,592	12.12%	54,102	11.14%	49,813	10.77%	
繰延勘定償却		0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	
雑支出		0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	
合計		483,376	100.00%	485,757	100.00%	462,371	100.00%	
経常利益（損失）	49,646		24,901		23,129			
特別利益	0		0		0			
特別損失	84		293		457			
純利益（損失）	49,562		24,608		22,672			
前年度繰越利益剰余金	248,037		297,599		322,207			
その他未処分利益剰余金変動額	92,613		44,446		33,960			
当年度未処分利益剰余金	390,212		366,653		378,839			

## 2. 貸借対照表

[単位：千円]

科目	年度	平成 29 年度		平成 30 年度		令和元年度	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
資産 の 部	1. 固定資産	5,409,509	87.30%	5,250,617	87.29%	5,102,871	87.10%
	(1)有形固定資産	5,382,802	86.87%	5,229,090	86.93%	5,086,524	86.82%
	イ. 土地	806,773	13.02%	806,773	13.41%	806,773	13.77%
	ロ. 建物	448,894	7.24%	436,498	7.26%	424,102	7.24%
	ハ. 構築物	3,340,872	53.92%	3,257,979	54.16%	3,176,758	54.22%
	ニ. 機械及び装置	773,984	12.49%	717,805	11.93%	671,857	11.47%
	ホ. 車両運搬具	2,543	0.04%	2,151	0.04%	1,759	0.03%
	ヘ. 工具器具及び備品	9,736	0.16%	7,884	0.13%	5,275	0.09%
	ト. リース資産	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	建設仮勘定	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	(2)無形固定資産	26,640	0.43%	21,460	0.36%	16,280	0.28%
	イ. 電話加入権	740	0.01%	740	0.01%	740	0.01%
	ロ. ソフトウェア	25,900	0.42%	20,720	0.35%	15,540	0.27%
	(3)投資その他の資産	67	0.00%	67	0.00%	67	0.00%
	イ. 破産更生債権等	500	0.01%	500	0.01%	500	0.01%
	貸倒引当金	-500	-0.01%	-500	-0.01%	-500	-0.01%
	ロ. その他投資	67	0.00%	67	0.00%	67	0.00%
2. 流動資産	786,963	12.70%	764,539	12.71%	756,035	12.90%	
(1)現金預金	775,423	12.52%	753,581	12.53%	744,330	12.70%	
(2)未収金	10,492	0.17%	9,803	0.16%	10,580	0.18%	
貸倒引当金	-434	-0.01%	-354	-0.01%	-269	0.00%	
(3)貯蔵品	1,466	0.02%	1,498	0.02%	1,391	0.02%	
(4)その他流動資産	16	0.00%	11	0.00%	3	0.00%	
3. 繰延勘定	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	
(1)開発費	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	
資産合計	6,196,472	100.00%	6,015,156	100.00%	5,858,906	100.00%	
負債 の 部	4. 固定負債	2,973,060	47.98%	2,761,036	45.90%	2,584,389	44.11%
	(1)企業債	2,866,131	46.25%	2,653,083	44.11%	2,477,377	42.28%
	(2)引当金	106,929	1.73%	107,953	1.79%	107,012	1.83%
	イ. 退職給付引当金	22,843	0.37%	23,867	0.39%	26,184	0.45%
	ロ. 修繕引当金	84,086	1.36%	84,086	1.40%	80,828	1.38%
	5. 流動負債	262,093	4.23%	281,471	4.68%	291,654	4.98%
	(1)企業債	205,059	3.31%	228,048	3.79%	234,505	4.00%
	(2)リース債務	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	(3)未払金	49,763	0.80%	45,511	0.76%	48,334	0.83%
	(4)引当金	6,271	0.10%	6,912	0.11%	6,305	0.11%
	イ. 賞与引当金	5,279	0.08%	5,798	0.09%	5,282	0.09%
	ロ. 法定福利費引当金	992	0.02%	1,114	0.02%	1,023	0.02%
	(5)その他流動負債	1,000	0.02%	1,000	0.02%	2,510	0.04%
6. 繰延収益	380,848	6.15%	367,571	6.11%	355,112	6.06%	
(1)長期前受金	1,001,788	16.17%	1,003,063	16.68%	1,005,511	17.16%	
(2)長期前受金収益化累計額	620,940	-10.02%	635,492	10.56%	650,399	11.10%	
負債合計	3,616,001	58.36%	3,410,078	56.69%	3,231,156	55.15%	

資本の部	7. 資本金	1,818,035	29.34%	1,910,648	31.76%	1,955,094	33.37%
	8. 剰余金	762,436	12.30%	694,430	11.55%	672,656	11.48%
	(1) 資本剰余金	46,821	0.75%	46,820	0.78%	46,821	0.80%
	イ. 工事負担金	6,596	0.11%	6,596	0.11%	6,596	0.11%
	ロ. 国県補助金	17,962	0.29%	17,962	0.30%	17,962	0.31%
	ハ. 他会計補助金	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	ニ. 受贈財産評価額	22,084	0.35%	22,084	0.37%	22,084	0.38%
	ホ. その他資本剰余金	179	0.00%	178	0.00%	179	0.00%
	(2) 利益剰余金	715,615	11.55%	647,610	10.77%	625,835	10.68%
	イ. 減債積立金	248,967	4.02%	204,521	3.40%	170,560	2.91%
	ロ. 建設改良積立金	76,436	1.23%	76,436	1.27%	76,436	1.30%
	ハ. 当年度未処分利益剰余金	390,212	6.30%	366,653	6.10%	378,839	6.47%
	資本合計	2,580,471	41.64%	2,605,078	43.31%	2,627,750	44.85%
	負債資本合計	6,196,472	100.00%	6,015,156	100.00%	5,858,906	100.00%

## 3. 資本の収支

[税込、単位：千円]

科目		平成 29 年度		平成 30 年度		令和元年度	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
収入	出資金	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	他会計出資金	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	給水加入金	2,139	11.34%	3,294	16.79%	2,240	3.50%
	上水道給水加入金	1,923	10.19%	3,056	15.58%	2,090	3.27%
	簡易水道給水加入金	216	1.15%	238	1.21%	150	0.23%
	補助金	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	国県補助金	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	他会計補助金	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	負担金	1,931	10.23%	1,321	6.74%	2,848	4.46%
	他会計負担金	1,931	10.23%	1,321	6.74%	2,848	4.46%
企業債	14,800	78.43%	15,000	76.47%	58,800	92.04%	
上水道企業債	0	0.00%	0	0.00%	13,200	20.66%	
簡易水道企業債	14,800	78.43%	15,000	76.47%	45,600	71.38%	
合計	18,870	100.00%	19,615	100.00%	63,888	100.00%	
支出	建設改良費	106,806	33.98%	62,982	23.50%	68,155	23.01%
	固定資産購入費	2,911	0.93%	4,504	1.68%	4,139	1.40%
	機械装置費	2,911	0.93%	3,463	1.29%	3,961	1.34%
	車両運搬具費	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	工具器具備品費	0	0.00%	1,041	0.39%	178	0.06%
	設備購入費	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	リース債務支払額	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	上水道施設整備費	71,568	22.77%	30,729	11.47%	13,842	4.67%
	工事請負費	39,365	12.52%	30,729	11.47%	13,842	4.67%
	委託料	31,644	10.07%	0	0.00%	0	0.00%
	補償費	559	0.18%	0	0.00%	0	0.00%
	簡易水道施設整備費	32,327	10.28%	27,749	10.35%	50,174	16.94%
	工事請負費	32,327	10.28%	27,749	10.35%	47,794	16.14%
	委託料	0	0.00%	0	0.00%	2,380	0.80%
	企業債償還金	207,477	66.02%	205,059	76.50%	228,048	76.99%
	上水道企業債償還金	178,135	56.68%	183,830	68.58%	209,705	70.80%
	簡易水道企業債償還金	29,342	9.34%	21,229	7.92%	18,343	6.19%
補助金返還金	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	
国庫補助金返還金	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	
合計	314,283	100.00%	268,041	100.00%	296,203	100.00%	
収入 - 支出		△295,413		△ 248,426		△232,315	
当年度分	損益勘定保留資金	195,089	66.04%	199,559	80.33%	198,355	83.10%
	過年度分	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	損益勘定保留資金						
	当年度分	7,711	2.61%	4,421	1.78%	6,378	2.67%
	消費税資本の収支調整額						
	減債積立金	92,613	31.35%	44,446	17.89%	33,960	14.23%
建設改良積立金	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	
合計	295,413	100.00%	248,426	100.00%	238,693	100.00%	

4. 費用構成表【年度別】

[税抜、単位：千円]

項目	平成 29 年度		平成 30 年度		令和元年度	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
職員給与費	76,488	15.82%	79,008	15.92%	70,593	15.27%
(1)基本給	38,082	7.88%	40,168	8.09%	36,333	7.86%
(2)手当	21,662	4.48%	24,633	4.96%	20,345	4.40%
(3)賃金	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
(4)退職給付費	4,485	0.93%	1,025	0.21%	2,317	0.50%
(5)法定福利費	12,259	2.53%	13,182	2.66%	11,598	2.51%
支払利息	58,592	12.12%	54,102	10.90%	49,813	10.77%
(1)一時借入金利息	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
(2)企業債利息	58,592	12.12%	54,102	10.90%	49,813	10.77%
減価償却費	209,346	43.31%	213,858	43.10%	212,496	45.96%
動力費	35,924	7.43%	40,587	8.18%	35,785	7.74%
光熱水費	573	0.12%	675	0.14%	627	0.14%
通信運搬費	5,044	1.04%	5,421	1.09%	4,994	1.08%
修繕費	23,058	4.77%	18,897	3.81%	18,691	4.04%
材料費	4,830	1.00%	4,323	0.87%	5,427	1.17%
薬品費	2,038	0.42%	2,163	0.44%	2,296	0.50%
路面復旧費	3,411	0.71%	1,901	0.38%	742	0.16%
委託料	44,563	9.22%	52,617	10.60%	46,373	10.03%
その他	19,509	4.04%	22,695	4.57%	14,534	3.14%
合計	483,376	100.00%	496,247	100.00%	462,371	100.00%

## 5. 費用構成表

[税抜、単位：千円]

		原水・浄水	配水・給水	業務	総係	その他	合計
基本給	給料	7,456	11,520	0	17,357	0	36,333
	扶養手当	756	948	0	618	0	2,322
手当	時間外手当	611	784	0	109	0	1,504
	特殊勤務手当	0	0	0	0	0	0
	管理職手当	0	0	0	420	0	420
	通勤手当	196	22	0	44	0	262
	住居手当	24	0	0	0	0	24
	期末勤勉手当	2,516	4,799	0	7,118	0	14,433
	児童手当	240	780	0	360	0	1,380
退職給付費		0	0	0	8,669	0	2,317
法定福利費		2,319	3,723	0	2,317	0	11,598
支払利息		0	0	0	0	49,813	49,813
減価償却費		0	0	0	0	212,496	212,496
動力費		30,390	5,395	0	0	0	35,785
光熱水費		346	281	0	0	0	627
通信運搬費		3,256	0	1,442	296	0	4,994
修繕費		5,172	6,984	6,488	47	0	18,691
材料費		0	5,427	0	0	0	5,427
薬品費		2,296	0	0	0	0	2,296
路面復旧費		0	742	0	0	0	742
委託料		10,617	3,346	31,721	689	0	46,373
その他	旅費	0	0	0	10	0	10
	被服費	0	0	0	93	0	93
	備消費費	148	83	1,506	266	0	2,003
	燃料費	279	187	22	44	0	531
	印刷製本費	0	0	349	0	0	349
	手数料	1,800	71	2,258	205	0	4,334
	賃借料	0	3	0	1,959	0	1,962
	広告料	0	0	0	0	0	0
	保険料	225	267	0	137	0	628
	公課費	31	13	0	0	0	44
	負担金	0	0	0	599	0	599
	材料売却原価	0	0	0	0	355	355
	研修費	0	0	0	160	0	160
	報酬	0	0	0	59	0	59
	貸倒引当金繰入額	0	0	0	0	0	0
	固定資産除却費	0	0	0	0	3,406	3,460
固定資産撤去費	0	0	0	0	0	0	
雑支出	0	0	0	0	0	0	
合計		68,678	45,375	43,786	38,463	266,070	462,371



## 6. 企業債の概要

### (1) 上水道

[単位：円]

借入先	件数	発行総額	構成比	未償還残高	構成比
財務省資金運用部	16	1,932,700,000	46.89%	989,941,772	41.80%
公営企業金融公庫	25	2,189,500,000	53.11%	1,378,573,767	58.20%
合計	41	4,122,200,000	100.00%	2,368,515,539	100.00%

### (2) 簡易水道

[単位：円]

借入先	件数	発行総額	構成比	未償還残高	構成比
財務省資金運用部	14	188,300,000	37.56%	113,193,457	32.97%
公営企業金融公庫	19	313,000,000	62.44%	230,173,703	67.03%
合計	33	501,300,000	100.00%	343,367,160	100.00%

### (3) 合計

[単位：円]

借入先	件数	発行総額	構成比	未償還残高	構成比
財務省資金運用部	30	2,121,000,000	45.87%	1,103,135,229	40.68%
公営企業金融公庫	44	2,502,500,000	54.13%	1,608,747,470	59.32%
合計	74	4,623,500,000	100.00%	2,711,882,699	100.00%

## V. 経営分析

### 1. 資産及び資本構成比率

項目	算式	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	備考
固定資産 構成比率[%]	$\frac{\text{固定資産}}{\text{固定資産}+\text{流動資産}+\text{繰延勘定}} \times 100$	87.30	87.30	87.29	$\frac{5,102,871}{5,102,871+756,035+0} \times 100 = 87.10$	総資産における固定資産の割合。固定資産の増大は、固定費の増加や資産の固定化をもたらすため、比率は低い方が望ましい。
固定負債 構成比率[%]	$\frac{\text{固定負債}}{\text{負債} \cdot \text{資本合計}} \times 100$	49.93	47.98	45.90	$\frac{2,584,389}{5,858,905} \times 100 = 44.11$	総資本に対する長期負債の割合を表し、経営の長期的安全性を測る指標で、比率は低い方が望ましい。
自己資本 構成比率[%]	$\frac{\text{資本金}+\text{剰余金}+\text{評価差額等}+\text{繰延収益}}{\text{負債} \cdot \text{資本合計}} \times 100$	46.24	47.79	49.42	$\frac{1,955,094+672,655+0+355,112}{5,858,905} \times 100 = 50.91$	総資本に対する自己資本の割合を表す指標で、比率の高い方が経営の安全性は高いと言える。
固定資産対 長期資本 比率[%]	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本金}+\text{剰余金}+\text{評価差額等}+\text{固定負債}+\text{繰延収益}} \times 100$	90.78	91.16	91.57	$\frac{5,102,871}{1,955,094+672,655+0+2,584,389+355,112} \times 100 = 91.66$	固定資産の調達、自己資本と固定負債の範囲内で行われるべきであるため、比率は100以下であることが必要。
固定比率[%]	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本金}+\text{剰余金}+\text{評価差額等}+\text{繰延収益}} \times 100$	188.80	182.67	176.63	$\frac{5,102,871}{1,955,094+672,655+0+355,112} \times 100 = 171.07$	固定資産が自己資本でどの程度賄われているかを示す指標で、比率が低いほど良く、高いと借入金での資金調達を示し財政的不安定を意味する。
流動比率[%]	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	331.35	300.26	271.62	$\frac{756,035}{291,654} \times 100 = 259.22$	短期債務に対する支払い能力を示す指標。比率は100以上必要で、資金量を示すことから高いほど良い。
酸性試験 比率[%]	$\frac{\text{現金預金}+(未収金-\text{貸倒引当金})}{\text{流動負債}} \times 100$	330.78	299.70	271.09	$\frac{744,330+(10,580-270)}{291,654} \times 100 = 258.74$	流動資産の内現金預金及び現金化されるものによる支払い能力を見る。比率は100以上が適当。
現金比率[%]	$\frac{\text{現金預金}}{\text{流動負債}} \times 100$	326.95	295.86	267.73	$\frac{744,330}{291,654} \times 100 = 255.21$	支払い能力を表す指標。比率は100以上が望ましい。

## 2. 回転率

項目	算式	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	備考
自己資本 回転率[回]	$\frac{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}}{(\text{期首自己資本}+\text{期末自己資本})\times 1/2}$	0.21	0.19	0.18	$\frac{451,200-0}{(2,605,078+2,627,749)\times 1/2} = 0.17$	投下した自己資本に対し、どれだけの営業収益が生じているか、すなわち自己資本の活動率を示す。
固定資産 回転率[回]	$\frac{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}}{(\text{期首固定資産}+\text{期末固定資産})\times 1/2}$	0.09	0.09	0.09	$\frac{451,200-0}{(5,250,617+5,102,871)\times 1/2} = 0.09$	固定資産の利用度を示す数値で、高い値ほど固定資産が十分に活用されていることを示す。
流動資産 回転率[回]	$\frac{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}}{(\text{期首流動資産}+\text{期末流動資産})\times 1/2}$	0.66	0.62	0.61	$\frac{451,200-0}{(764,539+756,035)\times 1/2} = 0.59$	一般的には高い値ほど良好であるが、流動資産の過少から高くなるものには、注意が必要である。
未収金 回転率[回]	$\frac{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}}{(\text{期首未収金}+\text{期末未収金})\times 1/2}$	48.77	48.84	46.90	$\frac{451,200-0}{(9,803+10,580)\times 1/2} = 46.90$	未収金の回収速度を示すもので、高い値ほど未収金が未回収のまま残留する期間が短いことを示している。
減価償却率 [%]	$\frac{\text{当年度減価償却費}}{\text{有形固定資産}+\text{無形固定資産}-\text{土地}-\text{建設仮勘定}+\text{当年度減価償却費}} \times 100$	4.33	4.35	4.59	$\frac{212,496}{5,086,524+16,280-806,773-0+212,496} \times 100 = 4.71$	減価償却費が適当か否か及び統一的な償却方法がとられているか否かを示す比率で年度により極端に変動していれば検討を要する。

(注) 自己資本＝自己資本金＋剰余金 (※ただし、2014年度に限り、期首とは会計基準の見直しに伴う移行仕訳したもの)

### 3. 損益に関する比率

項目	算式	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	備考
純資本利益率[%]	$\frac{\text{当年度経常利益}}{(\text{期首総資本}+\text{期末総資本})\times 1/2} \times 100$	1.34	0.79	0.40	$\frac{23,129}{(6,015,156+5,858,905)\times 1/2} \times 100 = 0.39$	投下した資本に対する利益率で、大きい方が良い。
総収支比率[%]	$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$	117.90	110.25	105.06	$\frac{485,500}{462,828} \times 100 = 104.90$	全体的な経営収支状態を示す比率。 100以下は赤字。
経常収支比率[%]	$\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100$	117.98	110.27	105.13	$\frac{485,500}{462,371} \times 100 = 105.00$	経常的な経営収支状態を示す比率。 100以下は赤字。
営業収支比率[%]	$\frac{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}}{\text{営業費用}-\text{受託工事費用}} \times 100$	126.27	116.33	110.27	$\frac{451,200-0}{412,558-0} \times 100 = 109.37$	主要事業での経営収支状態を示すもので、大きいほど良く100以下ならば原価に見合った収益確保の必要がある。
利子負担率[%]	$\frac{\text{支払利息}+\text{企業債取扱諸費}}{\text{一時借入金}+\text{建設改良の財源に充てるための企業債}\cdot\text{長期借入金}+\text{その他の企業債}\cdot\text{長期借入金}} \times 100$	2.08	1.91	1.88	$\frac{49,813+0}{0+2,711,882} \times 100 = 1.84$	負債に対する支払利息の比率、言い換えれば平均利率。
企業債償還元金対減価償却額比率[%]	$\frac{\text{企業債償還元金}}{\text{当年度減価償却費}} \times 100$	96.31	99.11	106.64	$\frac{228,048}{212,496} \times 100 = 107.32$	企業債の発行が経営規模に比べ適正かどうかを示す指標。 100以下が望ましい。
企業債償還元金対給水収益比率[%]	$\frac{\text{企業債償還元金}}{\text{給水収益}} \times 100$	39.52	42.30	48.28	$\frac{228,048}{447,452} \times 100 = 50.97$	企業債発行額が事業規模に適正かを判断する基準で、低いほど良い。
企業債利息対給水収益比率[%]	$\frac{\text{企業債利息}}{\text{給水収益}} \times 100$	13.07	11.95	11.45	$\frac{49,813}{447,452} \times 100 = 11.13$	企業債発行額が事業規模に適正かを判断する基準で低いほど良い。
職員給与費対給水収益比率[%]	$\frac{\text{職員給与費}}{\text{給水収益}} \times 100$	13.69	15.59	16.72	$\frac{70,595}{447,452} \times 100 = 15.78$	人的サービスの占める割合で、当然低い方が良い。 比率は30%前後が適当。

(注)※ただし、2014年度に限り、期首とは会計基準の見直しに伴う移行仕訳したもの

4. その他比率

項目	算式	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	備考
有収率[%]	$\frac{\text{年間総有収水量}}{\text{年間総配水量}} \times 100$	70.34	69.25	68.17	$\frac{2,458,285}{3,614,726} \times 100 = 68.01$	総配水量のうち、料金収入となった水量の割合。高率ほど良い。
負荷率[%]	$\frac{\text{一日平均配水量}}{\text{一日最大配水量}} \times 100$	80.07	80.22	78.62	$\frac{9,876}{11,510} \times 100 = 85.80$	施設が年間を通じて有効に使用されているかどうかを見る指標で、比率は大きいほど良い。
施設利用率[%]	$\frac{\text{一日平均配水量}}{\text{一日配水能力}} \times 100$	62.44	60.26	58.93	$\frac{9,876}{15,658} \times 100 = 63.07$	施設が年間を通じて有効かつ適切に使用されているかどうかを見る指標で、比率は大きいほど良い。
最大稼働率[%]	$\frac{\text{一日最大配水量}}{\text{一日配水能力}} \times 100$	77.98	75.12	74.96	$\frac{11,510}{15,658} \times 100 = 73.51$	100%以上の時は配水能力が最大配水量に不足し、100%を大きく下回る場合は最大給水施設を有していることを示す。
配水管使用効率 [m <sup>3</sup> /m]	$\frac{\text{年間総配水量}}{\text{配水管総延長}}$	22.79	19.31	18.88	$\frac{3,614,726}{198,749} = 18.19$	導送配水管1m当たりの配水量を見て、その効率を測る。量が多いほど使用効率が良い。
給水原価[円/m <sup>3</sup> ]	$\frac{\text{総費用}-\text{受託工事費}-\text{材料売却原価}-\text{不用品売却原価}-\text{特別損失}-\text{長期前受金戻入}}{\text{年間総有収水量}}$	162.75	173.83	181.46	$\frac{462,827,989 - 0 - 354,900 - 0 - 457,227 - 17,547,012}{2,577,746} = 180.80$	1m <sup>3</sup> あたりの生産原価
供給単価[円/m <sup>3</sup> ]	$\frac{\text{給水収益}}{\text{年間総有収水量}}$	184.51	183.22	183.23	$\frac{447,452,098}{2,458,285} = 182.02$	1m <sup>3</sup> あたりの販売単価
職員一人当り 給水人口[人]	$\frac{\text{給水人口}}{\text{損益勘定職員数}}$	1,853	1,815	1,469	$\frac{17,409}{9} = 1,934$	職員数を他の事業体と単純に比較するのは難しいので、1人当たりの生産性により比較する。数字は大きいほど生産性が高い。
職員一人当り 給水量[m <sup>3</sup> ]	$\frac{\text{年間総有収水量}}{\text{損益勘定職員数}}$	281,781	267,702	257,775	$\frac{2,458,285}{9} = 273,143$	
職員一人当り 営業収益[千円]	$\frac{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}}{\text{損益勘定職員数}}$	52,216	49,414	47,597	$\frac{451,200 - 0}{9} = 50,133$	
職員一人当り 有形固定資産 [千円]	$\frac{\text{有形固定資産}}{\text{損益勘定職員数} + \text{資本勘定職員数}}$	552,244	538,280	522,909	$\frac{5,086,524}{9 + 0} = 565,169$	

## 5. 経営指標一覧表

### (1)事業の概況

項目	算式	H30年度			R01年度
		全国平均	全国同規模	尾鷲市	
普及率[%] (対行政区域内人口)	$\frac{\text{現在給水人口}}{\text{行政区域内現在人口}} \times 100$	87.11	83.86	99.92	99.93
普及率[%] (対計画給水人口)	$\frac{\text{現在給水人口}}{\text{計画給水人口}} \times 100$	91.07	92.90	66.02	64.72
平均有収水量[l]	$\frac{\text{1日平均有収水量}}{\text{現在給水人口}}$	309	314	398	386
有収水量の用途別内訳[%] (家庭用)	$\frac{\text{1日平均有収水量}(\phi 25 \text{以下})}{\text{1日平均有収水量(合計)}} \times 100$	78.44	74.78	77.88	80.16
有収水量の用途別内訳[%] (工場用)	$\frac{\text{1日平均有収水量(電力)}}{\text{1日平均有収水量(合計)}} \times 100$	6.43	7.44	3.34	0.92
有収水量の用途別内訳[%] (その他)	$\frac{\text{1日平均有収水量(その他)}}{\text{1日平均有収水量(合計)}} \times 100$	15.14	17.78	18.78	18.92

### (2)収益性に関する項目

項目	算式	H30年度			R01年度	備考
		全国平均	全国同規模	尾鷲市		
総収支比率[%]	$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$	112.15	108.50	105.06	104.90	収益性をみる際の最も代表的な指標。
経常収支比率[%]	$\frac{\text{営業収益} + \text{営業外収益}}{\text{営業費用} + \text{営業外費用}} \times 100$	112.43	108.87	105.13	105.00	
営業収支比率[%]	$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{\text{営業費用} - \text{受託工事費用}} \times 100$	101.53	96.27	110.27	109.37	収益性を見るための指標。比率が高いほど利益率がよい。
自己資本回転率[回]	$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{(\text{期首自己資本} + \text{期末自己資本})/2}$	0.117	0.119	0.184	0.172	自己資本に対する営業収益の割合。比率が高いほど投下資本に比して営業活動が活発。
総資本回転率[回]	$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{(\text{期首負債資本合計} + \text{期末負債資本合計})/2}$	0.077	0.079	0.078	0.076	総資本に対する営業収益の割合
固定資産回転率[回]	$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{(\text{期首固定資産} + \text{期末固定資産})/2}$	0.089	0.092	0.090	0.087	固定資産に対する営業収益の割合。高いほど施設が有効に稼働している。
未収金回転率[回]	$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{(\text{期首未収金} + \text{期末未収金})/2}$	6.605	6.095	46.90	44.27	未収金の回収速度を示す指標。高い程よい。
総資本利益率[%]	$\frac{\text{経常利益} - \text{経常損失}}{(\text{期首負債資本合計} + \text{期末負債資本合計})/2} \times 100$	1.02	0.79	0.40	0.39	総資本の収益性を表す指標。高い程総合的な収益性が高い。

※ 自己資本=自己資本金+剰余金 (注)ただし、2014年度に限り期首とは会計基準の見直しに伴う移行仕訳をしたもの

## (3)資産の状態に関する項目

項目	算式	H30年度			R01 年度	備考
		全 平 均	全 国 同 規 模	尾 鷲 市		
企業債償還元金 対減価償却費比率 [%]	$\frac{\text{企業債償還元金}}{\text{減価償却費}} \times 100$	80.97	85.96	106.64	107.32	投下資本の 回収と再投 資とのバラ ンスを見る 指標。
有形固定資産 減価償却率[%]	$\frac{\text{有形固定資産減価償却累計額}}{\text{有形固定資産帳簿原価}} \times 100$	47.25	48.87	47.68	49.11	償却資産に おける減価 償却済の割 合を示す比 率。
当年度減価償却率 [%]	$\frac{\text{当年度減価償却費}}{\text{有形固定資産} + \text{無形固定資産} - \text{土地} - \text{建設仮勘定} + \text{当年度減価償却費}} \times 100$	4.18	4.27	4.59	4.71	償却対象固 定資産に対 する平均償 却率である。

項目	算式	H30年度			R01 年度	備 考
		全 平 均	全 国 同 規 模	尾 鷲 市		
有収水量 1 m <sup>3</sup> 当たり						
有形固定資産[円]	$\frac{\text{有形固定資産}}{\text{年間総有収水量}}$	1,790.00	1,927.21	2,028.55	2,069.14	
無形固定資産[円]	$\frac{\text{無形固定資産}}{\text{年間総有収水量}}$	16.62	38.36	8.32	6.62	
資産合計[円]	$\frac{\text{資産合計}}{\text{年間総有収水量}}$	2,072.59	2,311.34	2,333.49	2,383.33	
負債合計[円]	$\frac{\text{負債合計}}{\text{年間総有収水量}}$	1,131.19	1,291.76	1,322.89	1,314.39	
資本合計[円]	$\frac{\text{資本合計}}{\text{年間総有収水量}}$	941.40	1,019.57	1,010.60	1,068.94	
資本金[円]	$\frac{\text{資本金}}{\text{年間総有収水量}}$	728.55	738.63	741.21	795.31	
利益剰余金[円]	$\frac{\text{利益剰余金}}{\text{年間総有収水量}}$	160.08	217.34	251.23	254.58	
資本剰余金[円]	$\frac{\text{資本剰余金}}{\text{年間総有収水量}}$	52.68	63.60	18.16	19.05	
企業債現在高[円]	$\frac{\text{企業債}}{\text{年間総有収水量}}$	634.95	710.07	1,117.69	1,103.16	

## (4)財務比率に関する項目

項目	算式	H30年度			R01 年度	備考
		全 平	国 均	全 国 同 規 模 尾 鷲 市		
流動比率[%]	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	315.16	369.69	271.62	259.22	短期債務に対する支払い能力を表している。100%以上であることが必要。
当座比率[%]	$\frac{\text{現金預金} + \text{未収金}}{\text{流動負債}} \times 100$	305.22	364.46	271.21	258.84	短期債務に対する支払能力を表す比率。
流動資産回転率	$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{(\text{期首流動資産} + \text{期末流動資産}) / 2}$	0.633	0.547	0.614	0.593	流動資産の経営活動における回転度を表す。
自己資本 構成比率[%]	$\frac{\text{自己資本金} + \text{剰余金}}{\text{負債資本合計}} \times 100$	66.71	66.93	43.31	44.85	総資本に占める自己資本の割合。高いほど経営の安全性が高い。
固定資産 構成比率[%]	$\frac{\text{固定資産}}{\text{固定資産} + \text{流動資産} + \text{繰延勘定}} \times 100$	87.75	85.49	87.29	87.10	資産合計中の固定資産の割合を表す。低い方が柔軟な経営が可能となる。
固定資産 対長期資本比率 [%]	$\frac{\text{固定資産}}{\text{固定負債} + \text{資本金} + \text{剰余金}} \times 100$	91.30	88.98	97.85	97.90	事業の固定的・長期的安全性をみる指標。
固定比率[%]	$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資本金} + \text{剰余金}} \times 100$	131.55	127.73	201.55	194.19	自己資本がどの程度固定資産に投下されているかをみる指標。
固定負債 構成比率[%]	$\frac{\text{固定負債} + \text{流動負債} (\text{建設改良の財源に充てるための企業債})}{\text{負債資本合計}} \times 100$	29.41	29.14	49.69	48.11	他人資本依存度を示す指標。



## (5)施設の効率性に関する項目

項目	算式	H30年度			R01 年度	備考
		全 平 均	全 国 同 規 模 平均	尾 鷲 市		
施設利用率[%]	$\frac{\text{1日平均配水量}}{\text{1日配水能力}} \times 100$	60.12	55.03	58.93	63.07	施設の利用状況を総合的に判断する為の指標。
最大稼働率[%]	$\frac{\text{1日最大配水量}}{\text{1日配水能力}} \times 100$	71.06	68.22	74.96	73.51	1日配水能力に対する1日最大配水量。
負荷率[%]	$\frac{\text{1日平均配水量}}{\text{1日最大配水量}} \times 100$	84.61	80.66	78.62	85.80	施設が有効に使用されているかどうかをみる指標。 高いほど良い。
有収率[%]	$\frac{\text{年間総有収水量}}{\text{年間総配水量}} \times 100$	84.28	81.90	68.17	68.01	施設の稼働状況がそのまま収益につながっているかについての比率。
固定資産使用効率 [m <sup>3</sup> /万円]	$\frac{\text{年間総配水量}}{\text{有形固定資産}}$	6.63	6.34	7.23	7.11	有形固定資産に対する年間総配水量の割合。 高いほど施設が効率的である。
配水管 100m当たり 給水人口[人]	$\frac{\text{現在給水人口}}{\text{配水管延長}}$	12	9	8.87	8.76	施設の有効性を示す指標。
配水管使用効率[m <sup>3</sup> /m]	$\frac{\text{年間総配水量}}{\text{導送配水管延長}}$	14.64	12.01	18.88	18.19	施設の効率性を示す指標。

## (6)生産性に関する項目

項目	算式	H30年度			R01 年度	備考
		全 平 均	全 国 同 規 模	尾 鷲 市		
職員1人あたり						
給水人口[人]	$\frac{\text{現在給水人口}}{\text{損益勘定職員数}}$	3,816	2,923	1,776	1,934	職員1人あたりの生産性について把握するための指標。 大きいほど良い。
有収水量[m <sup>3</sup> ]	$\frac{\text{年間総有収水量}}{\text{損益勘定職員数}}$	429,877	335,138	257,775	273,143	
営業収益[千円]	$\frac{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}}{\text{損益勘定職員数}}$	68,696	61,078	47,597	50,133	
給水収益[千円]	$\frac{\text{給水収益}}{\text{損益勘定職員数}}$	66,422	59,051	47,231	49,717	
職員給与費 対営業収益比率[%]	$\frac{\text{職員給与費}}{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}} \times 100$	11.31	11.89	15.48	15.65	営業収益に対する職員給与費の割合。
有収水量1万m <sup>3</sup> /1日 当たり 損益勘定職員数[人]	$\frac{\text{損益勘定職員数}}{\text{有収水量}(1\text{万m}^3/\text{日})}$	8	11	13.63	14.85	適正な職員数と配置がされているかどうかを把握するための指標。

## (7)料金に関する項目

項目	算式	H30年度			R01 年度	備考
		全 国 平 均	全 国 同 規 模	尾 鷲 市		
給水原価[円]	$\frac{\text{経常費用}-\text{受託工事費}-\text{付帯工事費}-\text{材料売却原価}-\text{長期前受金戻入}}{\text{年間総有収水量}}$	150.08	178.59	181.46	180.80	1m <sup>3</sup> あたりの生産原価
供給単価[円]	$\frac{\text{給水収益}}{\text{年間総有収水量}}$	154.51	176.20	183.23	182.02	1m <sup>3</sup> あたりの販売単価
料金回収率[%]	$\frac{\text{供給単価}}{\text{給水原価}} \times 100$	102.96	98.66	100.97	100.67	100%を下回る場合、給水に係る費用が水道料金以外で賄われていることを示す。
1ヶ月10m <sup>3</sup> 当たり 家庭用料金 [円]		2,551	1,609	1,188	1,210	消費税率10%込
1ヶ月20m <sup>3</sup> 当たり 家庭用料金 [円]		3,223	3,322	3,024	3,080	消費税率10%込

## (8)費用に関する項目

項目	算式	H30年度			R01 年度	備考
		全 国 平 均	全 国 同 規 模	尾 鷲 市		
費用構成比						
職員給与費[%]	$\frac{\text{職員給与費}}{\text{費用合計}} \times 100$	10.39	10.68	16.41	15.27	
支払利息[%]	$\frac{\text{支払利息}}{\text{費用合計}} \times 100$	6.93	6.45	11.24	10.77	
減価償却費[%]	$\frac{\text{減価償却費}}{\text{費用合計}} \times 100$	43.94	40.92	43.50	45.96	
動力費[%]	$\frac{\text{動力費}}{\text{費用合計}} \times 100$	6.41	5.44	7.81	7.74	
光熱水費[%]	$\frac{\text{光熱水費}}{\text{費用合計}} \times 100$	0.21	0.15	0.13	0.14	
通信運搬費[%]	$\frac{\text{通信運搬費}}{\text{費用合計}} \times 100$	0.63	0.61	1.04	1.08	
修繕費[%]	$\frac{\text{修繕費}}{\text{費用合計}} \times 100$	5.21	4.87	3.64	4.04	
材料費[%]	$\frac{\text{材料費}}{\text{費用合計}} \times 100$	0.34	0.33	0.84	1.17	
薬品費[%]	$\frac{\text{薬品費}}{\text{費用合計}} \times 100$	0.46	0.59	0.42	0.50	
路面復旧費[%]	$\frac{\text{路面復旧費}}{\text{費用合計}} \times 100$	0.27	0.15	0.37	0.16	
委託料[%]	$\frac{\text{委託料}}{\text{費用合計}} \times 100$	11.14	9.10	10.12	10.03	
受水費[%]	$\frac{\text{受水費}}{\text{費用合計}} \times 100$	8.01	14.91	0.00	0.00	
その他[%]	$\frac{\text{その他}}{\text{費用合計}} \times 100$	5.59	5.22	4.48	3.14	

項目	算式	H30年度			R01 年度	備考
		全 国 平 均	全 国 同 規 模	尾 鷲 市		
給水収益中						
職員給与費[%]	$\frac{\text{職員給与費}}{\text{給水収益}} \times 100$	11.40	12.30	16.72	15.78	給水収益と比較した場合の 各費用の比率を 示した指標。
企業債利息[%]	$\frac{\text{企業債利息}}{\text{給水収益}} \times 100$	7.59	7.42	11.45	11.13	
減価償却費[%]	$\frac{\text{減価償却費}}{\text{給水収益}} \times 100$	48.23	47.12	44.32	47.49	
企業債償還元金[%]	$\frac{\text{企業債償還元金}}{\text{給水収益}} \times 100$	28.82	28.63	48.28	50.97	

項目	算式	H30年度			R01 年度	備考
		全 国 平 均	全 国 同 規 模	尾 鷲 市		
有収水量 1 m <sup>3</sup> 当たり						
職員給与費[円]	$\frac{\text{職員給与費}}{\text{年間総有収水量}}$	17.62	21.67	30.64	28.72	
基本給[円]	$\frac{\text{基本給}}{\text{年間総有収水量}}$	9.03	11.15	15.58	14.78	
手当[円]	$\frac{\text{手当}}{\text{年間総有収水量}}$	4.59	5.71	9.55	8.28	
賃金[円]	$\frac{\text{賃金}}{\text{年間総有収水量}}$	0.36	0.57	0.00	0.00	
退職給付費[円]	$\frac{\text{退職給付費}}{\text{年間総有収水量}}$	0.61	0.39	0.40	0.98	
法定福利費[円]	$\frac{\text{法定福利費}}{\text{年間総有収水量}}$	3.03	3.85	5.11	4.72	
支払利息[円]	$\frac{\text{支払利息}}{\text{年間総有収水量}}$	11.75	13.08	20.99	20.26	
減価償却費[円]	$\frac{\text{減価償却費}}{\text{年間総有収水量}}$	74.52	83.03	81.21	86.44	
動力費[円]	$\frac{\text{動力費}}{\text{年間総有収水量}}$	10.87	11.05	14.58	14.56	
光熱水費[円]	$\frac{\text{光熱水費}}{\text{年間総有収水量}}$	0.36	0.30	0.24	0.25	
通信運搬費[円]	$\frac{\text{通信運搬費}}{\text{年間総有収水量}}$	1.07	1.23	1.95	2.03	
修繕費[円]	$\frac{\text{修繕費}}{\text{年間総有収水量}}$	8.83	9.88	6.79	7.60	
材料費[円]	$\frac{\text{材料費}}{\text{年間総有収水量}}$	0.58	0.68	1.57	2.21	
薬品費[円]	$\frac{\text{薬品費}}{\text{年間総有収水量}}$	0.78	1.21	0.78	0.93	
路面復旧費[円]	$\frac{\text{路面復旧費}}{\text{年間総有収水量}}$	0.46	0.30	0.68	0.30	
委託料[円]	$\frac{\text{委託料}}{\text{年間総有収水量}}$	18.90	18.47	18.90	18.86	
受水費[円]	$\frac{\text{受水費}}{\text{年間総有収水量}}$	13.59	30.26	0.00	0.00	
その他[円]	$\frac{\text{その他}}{\text{年間総有収水量}}$	9.48	10.59	8.36	5.91	
費用合計[円]	$\frac{\text{費用合計}}{\text{年間総有収水量}}$	169.61	202.93	188.44	197.60	
資本費[円]	$\frac{\text{企業債利息} + \text{減価償却費}}{\text{年間総有収水量}}$	73.96	88.77	102.20	106.70	
利子負担率[%]	$\frac{\text{支払利息}}{\text{企業債} + \text{一時借入金} + \text{建設改良の財源に充てるための企業債}}$	1.83	1.84	0.02	0.02	外部利子の平均利率を示す。

(9)繰入金の状況に関する項目

項目	算式	H30年度			年度	備考
		全 国 平 均	全 国 同 規 模	尾 鷲 市		
繰入金比率[%] (収益的収入分)	$\frac{\text{繰入金(収益的収入分)}}{\text{総収益}} \times 100$	4.36	5.11	3.44	3.19	収入における繰入金依存度を分析する比率。
繰入金比率[%] (資本的収入分)	$\frac{\text{繰入金(資本的収入分)}}{\text{資本的収入計}} \times 100$	17.76	22.49	5.75	4.46	

## VI. 施設概要

### 1. 水源施設数

(1)水源施設 (送水・消毒設備 11 箇所)

矢ノ浜・須賀利・九鬼・早田・三木浦第1・三木浦第2・三木里・賀田第1(北)・賀田第1(南)・曾根・梶賀

(2)取水施設

取水施設名		水源名	箇所数	
上水道	矢ノ浜	地下水(浅層井戸) 1号井・5号井・6号井	3	
		矢ノ川伏流水 1号井・2号井	2	
簡易水道	須賀利	地下水(浅井戸) 1号井・2号井	2	
	九鬼	滝ノ頭川表流水	1	
	早田	大川表流水	1	
	三木浦	第1	三木谷川表流水	1
		第2	浦越川表流水	1
	三木里	八十川伏流水 1号井	1	
	賀田第1	北	地下水(浅井戸) 1号井	1
		南	地下水(浅井戸) 1号井	1
	曾根	逢神川表流水	1	
	梶賀	梶賀川表流水	1	
合計			16	

## 2. 各施設ポンプ能力(50台)

区分	施設名	用途	口径φ (mm)	毎分流量 (m <sup>3</sup> )	24時間流量 1日最大(m <sup>3</sup> )	全揚程 (m)	出力 (kW)	台数 (台)
上水道	矢ノ浜浄水場	送水	250	7.00	10,080	79.0	132.0	2
		配水	200	5.60	8,064	59.0	90.0	3
		取水	100	2.78	4,003	22.0	18.5	2
		取水	200	4.17	6,004	20.0	30.0	2
		取水	80	0.50	720	20.0	5.5	1
		取水	100	1.60	2,304	25.0	11.0	1
		取水	80	0.50	720	26.0	5.5	1
		ろ過	200	5.00	7,200	18.0	30.0	1
	馬越 送水ポンプ場	送水	80	0.40	576	112.0	18.5	2
	泉台 加圧ポンプ場	配水	100	0.80	1,152	67.0	18.5	2
光ヶ丘 送水ポンプ場	送水	100	1.10	1,584	55.0	18.5	2	
向井 加圧ポンプ場	配水	80	0.50	720	65.0	11.0	2	
簡易水道	須賀利浄水場	配水	65	0.80	1,152	72.0	15.0	2
		取水	50	0.38	540	15.0	1.5	4
	三木浦第1 浄水場	送水	80	1.10	1,584	47.0	15.0	2
	三木浦第2 浄水場	送水	50	0.32	454	72.0	7.5	2
		逆洗	100	1.10	1,584	19.5	5.5	2
	三木里浄水場	送水	100	0.92	1,325	75.0	22.0	2
		取水	80	0.50	720	10.0	5.5	2
	賀田第1(北) 浄水場	送水	100	1.00	1,440	60.0	18.5	2
	賀田第1(南) 浄水場	送水	80	0.50	720	87.0	15.0	2
		取水	80	0.7	1,008	13.0	5.5	2
		逆洗	150	2.70	3,888	17.0	11.0	2
	賀田第2 加圧ポンプ場	配水	100	0.97	1,397	60.0	18.5	2
	古江加圧 ポンプ場	配水	80	0.70	1,008	63.0	15.0	2
	曾根 加圧ポンプ場	配水	40	0.22	317	—	2.2	1

3. 電力使用量【矢ノ浜浄水場：年度別】 [単位:kWh]

年度 月	H26	H27	H28	H29	H30	R01
4月	146,184	136,595	140,908	141,038	134,648	128,797
5月	143,903	136,834	142,153	131,966	130,565	134,559
6月	159,349	141,666	131,278	135,469	132,250	136,927
7月	155,401	143,658	138,509	139,296	141,487	133,538
8月	172,691	159,969	149,760	142,459	151,819	146,038
9月	174,773	154,277	147,556	140,801	150,215	134,990
10月	165,226	135,484	141,375	140,812	141,962	129,195
11月	173,483	139,663	133,730	141,326	130,202	135,714
12月	166,699	138,581	152,097	142,573	125,992	126,565
1月	178,614	146,888	167,182	153,395	136,089	134,886
2月	177,566	142,048	138,205	149,615	133,798	126,458
3月	158,335	128,962	129,675	130,580	125,066	115,591
合計	1,972,224	1,704,625	1,712,428	1,689,330	1,634,093	1,583,258

4. 配水池・ポンプ井貯水能力一覧表

区分	施設名	名称	容量[m <sup>3</sup> ]
上水道	矢ノ浜浄水場	配水池 1 号	3,322
		配水池 2 号	2,512
	桂山配水池	配水池	5,750
	泉台加圧ポンプ場	ポンプ井	140
	光ヶ丘送水ポンプ場	ポンプ井	58
	光ヶ丘配水池	配水池	1,000
	馬越送水ポンプ場	ポンプ井	122
	馬越配水池	配水池	107
	向井加圧ポンプ場	ポンプ井	102
簡易水道	須賀利浄水場	ポンプ井	303
	九鬼浄水場	配水池	279
	早田浄水場	配水池	64
	三木浦第 1 浄水場	ポンプ井	82
	三木浦第 2 浄水場	ポンプ井	82
	三木浦配水池	配水池	450
	三木里浄水場	ポンプ井	104
	三木里配水池	配水池	375
	賀田配水池	配水池	246
	賀田第 1(南)浄水場	ポンプ井	65
	賀田第 2 加圧ポンプ場	ポンプ井	350
	古江加圧ポンプ場	ポンプ井	216
	曾根浄水場	配水池	100
	梶賀浄水場	配水池	39



## 5. 施設所在地

施設名	所在地
矢ノ浜浄水場	尾鷲市矢浜四丁目 4 番 8 号
桂山配水池	尾鷲市大字南浦矢ノ浜上ノ山 1917-32
馬越送水ポンプ場	尾鷲市北浦西町 1508
馬越配水池	尾鷲市馬越町 3838
泉加圧ポンプ場	尾鷲市古戸野町 4-18
光ヶ丘送水ポンプ場	尾鷲市光ヶ丘 13-31
光ヶ丘配水池	尾鷲市大字南浦 1836-2
向井加圧ポンプ場	尾鷲市大字向井 195-4、195-5
須賀利浄水場	尾鷲市須賀利町 505-1
九鬼浄水場	尾鷲市九鬼町 305
早田浄水場	尾鷲市早田町 252-1
三木浦第 1 浄水場	尾鷲市三木浦町 53
三木浦第 2 浄水場	尾鷲市早田町 351-6
三木浦配水池	尾鷲市三木浦町 303-20
三木里浄水場	尾鷲市三木里町 1123
三木里配水池	尾鷲市三木里町 902-3
賀田第 1(北)浄水場	尾鷲市賀田町 972-180
賀田第 1(南)浄水場	尾鷲市賀田町 970-3
賀田第 2 加圧ポンプ場	尾鷲市賀田町 318-36
古江加圧ポンプ場	尾鷲市古江町 670-21
賀田配水池	尾鷲市賀田町 1008-2
曾根浄水場	尾鷲市曾根町 376-3
曾根加圧ポンプ場	尾鷲市曾根町 520-2
梶賀浄水場	尾鷲市梶賀町寺ノ上 149

## Ⅶ. 設 備

### 1. 上水道

#### (1) 矢ノ浜浄水場

##### 【No.1】

公 称 能 力	14,500 m <sup>3</sup> /日 (認可値)		
経 歴	1966年(昭和41年)竣工 2007年度(平成19年度) 新矢ノ浜浄水場築造		
配 水 池	1号配水池 PC造り(鉄筋コンクリート造) 内径φ23.0m×有効8.0m Ve=3,322 m <sup>3</sup>		1池
	2号配水池 PC造り(鉄筋コンクリート造) 内径φ20.0m×有効8.0m Ve=2,512 m <sup>3</sup>		1池
送 水 ポ ン プ	送水ポンプ 両吸込渦巻ポンプ (内予備1台) φ250mm×φ150mm×7.0 m <sup>3</sup> /min×79m×132kw		2台
	配水ポンプ 両吸込渦巻ポンプ (内予備2台) φ200mm×φ150mm×5.6 m <sup>3</sup> /min×59m×90kw		3台
取 水 ポ ン プ	伏流水1号井取水ポンプ 水中渦巻ポンプ φ100mm×2.78 m <sup>3</sup> /min×22m×18.5kw		2台
	伏流水2号井取水ポンプ 水中渦巻ポンプ φ200mm×4.17 m <sup>3</sup> /min×20m×30kw		2台
	浅層地下水1号井取水ポンプ 水中渦巻ポンプ φ80mm×0.5 m <sup>3</sup> /min×20m×5.5kw		1台
	浅層地下水5号井取水ポンプ 水中渦巻ポンプ φ100mm×1.6 m <sup>3</sup> /min×25m×11kw		1台
	浅層地下水6号井取水ポンプ 水中渦巻ポンプ φ80mm×0.5 m <sup>3</sup> /min×26m×5.5kw		1台
ろ 過 ポ ン プ	ろ過機水中ポンプ 水中渦巻ポンプ φ200mm×5.0 m <sup>3</sup> /min×18m×30kw		1台
消 毒 設 備	薬 注 ポ ン プ	定量比例注入ポンプ 1・2号 30ml/min 1.0MPa	2台
		定量比例注入ポンプ 3号 (内予備1台) 60ml/min 1.0MPa	2台
		定量比例注入ポンプ 4号 (内予備1台) 60ml/min 1.0MPa	2台
	次亜塩素酸ソーダ貯槽 φ1.3m H=1.62m 素材 ポリエチレン Ve=1.5 m <sup>3</sup>		2台

【No.2】

ポンプ井 (着水井)	伏流水1号井 楕円形 RC 造り(鉄筋コンクリート造) 内径 $\phi$ 8.0m $\times$ H9.0m		1井	
	伏流水2号井 長方形 RC 造り(鉄筋コンクリート造) 内法 W6.0m $\times$ L12.5m $\times$ H7.0m		1井	
	浅層地下水1号井 SP $\phi$ 600mm $\times$ H15m		1井	
	浅層地下水5号井 SP $\phi$ 400mm $\times$ H15m		1井	
	浅層地下水6号井 SP $\phi$ 600mm $\times$ H15m		1井	
集水管	集水埋管伏流水1号 有孔 HP $\phi$ 700mm $\sim$ L=150m		1式	
	集水埋管伏流水2号 有孔 HP $\phi$ 1,500mm $\sim$ L=243m		1式	
ポンプ井 (ろ過)	ろ過ポンプ井 RC 造り(鉄筋コンクリート造) 内法 W4.0m $\times$ L5.0m $\times$ 深さ 4.0m		1井	
契約電力	高压電力 B 515A $\cdot$ kw 力率 97%			
受変電設備	高压変圧器 6.6kv/420 500kVA		2台	
ろ過器	ろ過器 急速ろ過器 動式密閉型 1池当り4分割 ろ過速度 120m/日		1台	
電気計装設備	流量計	1号井取水流量計 $\phi$ 300mm 0~450 m <sup>3</sup> /h 水中型電磁式	1台	
		5・6号井取水流量計 $\phi$ 300mm 0~450 m <sup>3</sup> /h 水中型電磁式	1台	
		伏流水1号井取水流量計 $\phi$ 400mm 0~1,000 m <sup>3</sup> /h 超音波式	1台	
		伏流水2号井取水流量計 $\phi$ 500mm 0~1,000 m <sup>3</sup> /h 水中型超音波式	1台	
		送水流量計 $\phi$ 250mm 0~800 m <sup>3</sup> /h 電磁式	1台	
		配水流量計 $\phi$ 300mm 0~800 m <sup>3</sup> /h 電磁式	1台	
	水位計	投込式	0~10m 配水池用	2台
			浅井戸用	4台
	自動通報装置付中央監視装置			1台
	テレメーター親局			1式
自家発電設備	ガスタービン式発電機 発電機 3 $\phi$ 3w 500kVA 6600V 4極 ガスタービン 単純開放サークル1軸式 441kw		1台	
	燃料タンク A重油1種1号 1,500 $\ell$		1台	
	地下タンク A重油1種1号 7,000 $\ell$		1台	

## (2)桂山配水池

公称能力	5,750 m <sup>3</sup> (貯水量)	
経歴	1966年(昭和41年) 竣工 2004年度(平成16年度) 送水ポンプ取替 2007年度(平成19年度) 緊急遮断弁設置 2013年度(平成25年度) 桂山配水池築造	
配水池	配水池 ステンレス製角型 内法 W23.0m×L25.5m×有効 10.58m=約 2,875 m <sup>3</sup> Ve=2,875 m <sup>3</sup> ×2池=5,750 m <sup>3</sup>	2池
契約電力	従量電灯 B 60A・kw	
電気設備	水位計 投込式液面発信器 0~10m	2台
	無停電電源装置	1台
	直流電源装置	1台
	緊急遮断弁 マークリング型緊急遮断弁ウェイト式 油圧分離型 [震度・流量併用感知方式] 内面エポキシ樹脂粉体塗装 φ300 バタフライ式 弁箱肉厚 13mm φ150 バタフライ式 弁箱肉厚 15mm	1台 1台
	地震監視装置 (地震ウォッチャー) 型式: SW-74	1台
	テレメーターSAS55 子局	1台

## (3)馬越送水ポンプ場

公称能力	576 m <sup>3</sup> /日 (最大流量)	
経歴	2000年度 (平成12年度) 送水・配水池機械電気設備	
ポンプ室	RC造り(鉄筋コンクリート造) 面積 A=W4.15m×L4.0m=16.6 m <sup>2</sup>	1室
送水ポンプ	多段渦巻ポンプ (フライホイールカップリング付) φ80×0.4 m <sup>3</sup> /min×112m×18.5kw 1,800rpm (内予備1台)	2台
ポンプ井	RC造り(鉄筋コンクリート造) 内法 W4.0m×L5.0m×有効3.5m Ve=70 m <sup>3</sup> 内法 W3.0m×L5.0m×有効3.5m Ve=52.5 m <sup>3</sup>	1池 1池
契約電力	低圧電力 26A・kw 力率90% 従量電灯 B 15A・kw	
電気設備	水位指示警報計 配水池水位計 0~3m DC1~5v	1台
	積算カウンター 配水池流量 8桁	1台
	2ペーン記録計 水位・配水量	1台
	自動通報装置	1台
	直流電源装置	1台
消毒設備	薬注ポンプ 定量注入ポンプ 14.5ml/min 1.0MPa ストローク数 23s.p.m	1台
	次亜塩素酸ソーダ貯槽 ポリエチレン φ500mm H=770mm Ve=100ℓ	1台
自家発電設備	ディーゼルエンジン 4サイクル水冷式	1台
	燃料タンク 30ℓ	1台

## (4)馬越配水池

公称能力	107 m <sup>3</sup> (貯水量)	
経歴	2000年度 (平成12年度) 馬越配水池改良	
配水池	RC造り(鉄筋コンクリート造) 内法 W6.2×L3.5×有効3.0=65.1 m <sup>3</sup> 内法 W6.2×L3.5×有効1.9=42.23 m <sup>3</sup> Ve=65.1 m <sup>3</sup> +42.23 m <sup>3</sup> =107.3 m <sup>3</sup>	1池 1池

## (5)泉台加圧ポンプ場

公称能力	1,152 m <sup>3</sup> /日 (最大流量)		
経歴	1975年度 (昭和50年度) 竣工 2018年度 (平成30年度) 1号加圧ポンプ取替		
ポンプ室	RC造り(鉄筋コンクリート造) 面積 A=W10.6m×L8.6m=90 m <sup>2</sup>		1室
加圧ポンプ	多段渦巻ポンプ (フライホイール付) φ100×0.8 m <sup>3</sup> /min×67m×18.5kw 1,800rpm (内予備1台)		2台
ポンプ井	RC造り(鉄筋コンクリート造) 内法 W10.6m×L8.6m×有効1.5m Ve=140 m <sup>3</sup>		1池
契約電力	低圧電力 22A・kw 力率90% 従量電灯 B 15A・kw		
電気設備	コンプレッサー		1台
	加圧タンク 圧力水槽(横円筒型) φ2.6m×L5.18m Ve=30.8 m <sup>3</sup> 最高使用圧力 6kg/c m <sup>2</sup> 銅板 16mm 鏡板 22mm		1台
	水位計	フロート液面発信機(FNF型)	1台
		デジタル指示警報計 0~5m	1台
	配水圧力 デジタル指示警報計 0~10kg/c m <sup>2</sup>		1台
	直流電源装置		1台
エンジン	ディーゼルエンジン 4サイクル水冷式		1台
	燃料タンク 350		1台

## (6)光ヶ丘送水ポンプ場

公称能力	1,584 m <sup>3</sup> /日 (最大流量)	
経歴	1985年度 (昭和60年度) 電気・計装改築 2006年度 (平成18年度) 送水ポンプ取替(防振架台)	
ポンプ室	RC造り(鉄筋コンクリート造) 面積 A=W5.1m×L5.7m=29 m <sup>2</sup>	1室
送水ポンプ	多段渦巻ポンプ(防振架台) φ100×1.1 m <sup>3</sup> /min×55m×18.5kw 1,735rpm(内予備1台)	2台
ポンプ井	RC造り(鉄筋コンクリート造) 内法 W5.7m×L5.1m×有効2.0m Ve=58.1 m <sup>3</sup>	1池
契約電力	低圧電力 21A・kw 力率90% 従量電灯 B 20A・kw	
電気設備	配水流量計	1台
消毒設備	薬注ポンプ 薬液定量ポンプ 34cc/min 15MPa ストローク長 3m/m	2台
	次亜塩素酸ソーダ貯槽 ポリエチレン φ500mm H=770mm Ve=100ℓ	2台

## (7)光ヶ丘配水池

公称能力	1,000 m <sup>3</sup> (貯水量)	
経歴	1986年 (昭和61年) 竣工 2005年度 (平成17年度) 緊急遮断弁オーバーホール	
配水池	PC造り(鉄筋コンクリート造) 内径φ16.0m×有効5.0m Ve=1,000 m <sup>3</sup>	1池
契約電力	従量電灯 B 15A・kw	
電気設備	緊急遮断弁 マークリング型緊急遮断弁(分離型) 震度感知方式 口径φ200mm バタフライ形式 面間300mm 弁箱の肉厚13mm 右回し開き 使用最高圧力0.45MPa	1台
	水位計	1台

## (8)向井加圧ポンプ場

公称能力	720 m <sup>3</sup> /日 (最大流量)		
経歴	1976年度 (昭和 51 年度) 竣工 2005年度 (平成 17 年度) 電気制御盤更新 2017年度 (平成 29 年度) 加圧ポンプ他取替		
ポンプ室	RC 造り(鉄筋コンクリート造) 面積 A=W4.55m×L7.45m=34 m <sup>2</sup>		1 室
加圧ポンプ	多段渦巻ポンプ φ 80×0.5 m <sup>3</sup> /min×65m×11kw 1,800rpm (内予備 1 台)		2 台
ポンプ井	RC 造り(鉄筋コンクリート造) 内法 W4.55m×L7.45m×有効 3.0m Ve=102 m <sup>3</sup>		1 池
契約電力	低圧電力 14A・kw 力率 80% 従量電灯 B 20A・kw		
電気設備	コンプレッサー 1.5kw オイルフリー		1 台
	加圧タンク 圧力水槽(横円筒型) φ 1.9m×L4.6m Ve=14.3 m <sup>3</sup> 最高使用圧 5kg/c m <sup>2</sup> 胴板 12mm 鏡板 12mm		1 台
	水位計	フロート液面発信器	1 台
		水位指示計 0~4m	1 台
	直流電源装置		1 台
エンジン	ディーゼルエンジン 4 サイクル水冷式		1 台
	燃料タンク 100ℓ		1 台



## 2. 簡易水道

### (1) 須賀利浄水場

公称能力	297 m <sup>3</sup> /日 (認可値)		
経歴	1981年度 (昭和 56年度) 竣工 2005年度 (平成 17年度) 電波発信型水位計更新 2020年度 (令和元年度) 加圧ポンプ取替		
ポンプ室	RC造り(鉄筋コンクリート造) 面積 A=48 m <sup>2</sup>		1室
加圧ポンプ	多段渦巻きポンプ φ65×0.8 m <sup>3</sup> /min×72m×15kw 1,800rpm(内予備 1台)		2台
取水ポンプ	水中渦巻きポンプ φ50×0.375 m <sup>3</sup> /min×15m×1.5kw 3,400rpm		4台
ポンプ井	RC造り(鉄筋コンクリート造) 内法 W11.9m×L10.9m×有効 2.5m Ve=303 m <sup>3</sup>		1池
取水井	RC造り (鉄筋コンクリート造)	1号井 内法 φ 3.0m×深さ 6.0m	1井
		2号井 内法 φ 1.2m×深さ 6.2m	1井
契約電力	低圧電力 21A・kw 力率 90% 従量電灯 B 30A・kw		
電気設備	水位計 電波発信型水位計		1台
	流量計 電磁流量計		1台
	加圧タンク 圧力水槽(横置円筒型) 胴の最大内径 1.2m~1.6m 9.5kg/c m <sup>2</sup> 内容積 2.15 m <sup>3</sup>		1台
	自動給水装置 最大 800ℓ /min 起動圧力選定範囲 5.1~6.8kg/m <sup>2</sup>		1台
	自動通報装置		1台
	直流電源装置		1台
	テレメーターSAS55 子局		1台
消毒設備	薬注ポンプ 定量注入ポンプ 30ml/min 1.0MPa ストローク数 300s.p.m		1台
	次亜塩素酸ソーダ貯槽 ポリエチレン Ve=200ℓ		1台
自家発電設備	三相交流ディーゼル発電機 50KVA		1台
	燃料タンク 200ℓ		1台

### (2) 九鬼浄水場

公称能力	495 m <sup>3</sup> /日 (認可値)		
経歴	1982年度 (昭和 57年度) 急速ろ過器設備 2007年度 (平成 19年度) 急速ろ過器自動逆洗化工事		
ろ過器	急速ろ過器 RSF型ろ過器 4型 20 m <sup>3</sup> /h		1台
配水池	RC造り(鉄筋コンクリート造) 内法 W13.7m×L3.4m×有効 3.0m=139.7 m <sup>3</sup> Ve=139.7 m <sup>3</sup> ×2池=279.4 m <sup>3</sup>		2池
契約電力	従量電灯 B 30A・kw		
電気設備	自動通報装置		1台
	テレメーターSAS15 子局		1台
消毒設備	薬注ポンプ 定量注入ポンプ 30ml/min 1.0MPa ストローク数 300s.p.m		1台
	次亜塩素酸ソーダ貯槽 ポリエチレン Ve=200ℓ		1台

## (3)早田浄水場

公称能力	81 m <sup>3</sup> /日 (認可値)		
経歴	1992年度 (平成4年度) 電気計装設備 2005年度 (平成17年度) 水中型電磁流量計更新		
ろ過池	RC造り(鉄筋コンクリート造) 緩速ろ過 W5.9m×L4.0m×H2.6m H2.6m内→ろ過砂 0.8m 小砂 0.1m 中砂 0.1m 大砂 0.15m 真空有孔レガ、空洞ブロック 0.25m		2池
沈殿槽	RC造り(鉄筋コンクリート造) 普通沈澱池		2池
配水池	RC造り(鉄筋コンクリート造) 内法 W4.0m×L3.5m×有効 2.3m=32.2 m <sup>3</sup> Ve=32.2 m <sup>3</sup> ×2池=64.4 m <sup>3</sup>		2池
契約電力	従量電灯 B 40A・kw		
電気設備	配水流量計	水中型電磁流量計	1台
		デジタル積算計	1台
	テレメーターSAS15子局		1台
消毒設備	薬注ポンプ 定量注入ポンプ 30ml/min 1.0MPa ストローク数 300s.p.m		1台
	次亜塩素酸ソーダ貯槽 ポリエチレン Ve=200ℓ		1台

## (4)三木浦第1浄水場

公称能力	326 m <sup>3</sup> /日 (認可値)		
経歴	1981年度 (昭和56年度) 竣工 2018年度 (平成30年度) 送水ポンプ2基取替		
計装室 (滅菌室)	RC造り(鉄筋コンクリート造) 面積 A=3.75m×2m=7.5 m <sup>2</sup>		1室
送水ポンプ	水中渦巻きポンプ φ80×1.1 m <sup>3</sup> /min×47m×15kw 3,600rpm (内予備1台)		2台
ポンプ井	RC造り(鉄筋コンクリート造)		1池
契約電力	低圧電力 18A・kw 力率 80% 従量電灯 B 15A・kw		
電気設備	自動通報装置		1台
	テレメーターSAS15子局		1台
消毒設備	薬注ポンプ 定量注入ポンプ 30ml/min 1.0MPa ストローク数 300s.p.m		1台
	次亜塩素酸ソーダ貯槽 ポリエチレン Ve=200ℓ		1台

## (5)三木浦第2浄水場

公称能力	326 m <sup>3</sup> /日 (認可値)		
経歴	1988年度 (昭和 63 年度) 竣工 2007年度 (平成 19 年度) 送水ポンプ取替 2014年度 (平成 26 年度) 非常用発電機取替		
ポンプ室	RC 造り(鉄筋コンクリート造) 面積 A=W9.0m×L5.5m=49.5 m <sup>2</sup>		1 室
送水ポンプ	多段渦巻ポンプ φ 50×0.315 m <sup>3</sup> /min×72m×7.5kw 1,730rpm (内予備 1 台)		2 台
逆洗ポンプ	片吸込渦巻ポンプ φ 100×1.10 m <sup>3</sup> /min×19.5m×5.5kw 1,730rpm (内予備 1 台)		2 台
ポンプ井	RC 造り(鉄筋コンクリート造) 内法 W6.5m×L5.5m×有効 2.3m Ve=82.2 m <sup>3</sup>		1 池
契約電力	低圧電力 16A・kw 力率 90% 従量電灯 B 50A・kw		
ろ過器	横型凝集沈殿装置 10 m <sup>3</sup> /h		2 台
電気設備	SASIO テレメータテレコントロール装置 親局		1 台
	ろ過器 急速ろ過器 10 m <sup>3</sup> /h		2 台
	表面散乱形濁度計 W301+WA203+WLS30T		1 台
	無試薬遊離塩素計(パイプスタンド形)ZXM		1 台
	流量計		1 台
	テレメーターSAS55 子局		1 台
消毒設備	次亜塩素素注入ポンプ 定量注入ポンプ		2 台
	PAC 注入ポンプ 定量注入ポンプ		2 台
	ソーダ灰注入ポンプ 定量注入ポンプ		2 台
	次亜塩素酸ソーダ貯槽 YT-200		2 台
	PAC 貯槽 YT-200		2 台
	ソーダ灰貯槽 YT-200 攪拌機付 PG-1		2 台
自家発電設備	三相交流ディーゼル発電機 48KVA		1 台
	燃料タンク 200ℓ		1 台

## (6)三木浦配水池

公称能力	450 m <sup>3</sup> (貯水量)		
経歴	1980 年度 (昭和 55 年度) 竣工		
配水池	PC 造り(鉄筋コンクリート造) 内法 φ 10.9m×有効 5.2m Ve=450 m <sup>3</sup>		1 池
契約電力	従量電灯 B 15A・kw		
電気設備	テレメーター・コントロール装置 SAS-10 子局		1 台
	水位計	光ファイバー式投込液面/圧力発信機	1 台
		光ファイバー式電気変換機 PSN	1 台
	流量計		1 台

## (7)三木里浄水場

公称能力	643 m <sup>3</sup> /日 (認可値)		
経歴	1978年度(昭和53年度) 竣工 2003年度(平成15年度) 電気計装盤更新 2006年度(平成18年度) 濁度計・残塩計・流量計取付更新 2008年度(平成20年度) 非常用発電機取替 2016年度(平成28年度) 送水ポンプ取替 2017年度(平成29年度) 取水ポンプ取替		
送水ポンプ	多段渦巻ポンプ (フライホイールカップリング付) φ100×0.92 m <sup>3</sup> /min×75m×22kw 1,800rpm(内予備1台)		2台
取水ポンプ	水中渦巻ポンプ φ80×0.5 m <sup>3</sup> /min×10m×5.5kw 3,600rpm(内予備1台)		2台
ポンプ井	RC造り(鉄筋コンクリート造) 内法 W6.85m×L5.85m×有効2.6m Ve=104 m <sup>3</sup>		1池
契約電力	低圧電力 24A・kw 力率90% 従量電灯 B 30A・kw		
電気設備	水位計	フロート液面発信機	1台
		現地式水位計	1台
	流量計	電磁流量計(水中形) φ150mm	1台
	自動通報装置		1台
	直流電源装置		1台
	残留塩素計	ポーラログラフ法 AC100V	1台
	濁度計	散乱光方式 AC100V	1台
	サンプリングポンプ	AC100V φ20mm	1台
	テレメーター	SAS55 子局	1台
消毒設備	薬注ポンプ 定量注入ポンプ 30ml/min 1.0MPa ストローク数 300s.p.m		1台
	次亜塩素酸ソーダ貯槽	ポリエチレン Ve=200ℓ	1台
自家発電設備	三相交流ディーゼル発電機 74KVA		1台
	燃料タンク	200ℓ	1台

## (8)三木里配水池

公称能力	375 m <sup>3</sup> (貯水量)		
経歴	1978年度(昭和53年度) 竣工		
配水池	RC造り(鉄筋コンクリート造) 内法 W6.8×L9.2m×有効3.0m=187.7 m <sup>3</sup> Ve=187.7 m <sup>3</sup> ×2池=375 m <sup>3</sup>		2池
電気設備	投込式 水位計		1台

## (9)賀田第1(北)浄水場

公称能力	1,000 m <sup>3</sup> /日 (認可値)	
経歴	1995年度 (平成7年度) 送水ポンプ取替 2000年度 (平成12年度) 電気盤更新 2018年度 (平成30年度) 送水ポンプ2基取替	
ポンプ室	RC造り(鉄筋コンクリート造) 面積 A=W5.6m×L4.7m=26.3 m <sup>2</sup>	1室
送水ポンプ	多段渦巻きタービンポンプ φ100×1.0 m <sup>3</sup> /min×60m×18.5kw 1,800rpm (内予備1台)	2台
ポンプ井(井戸)	RC造り(鉄筋コンクリート造) 内法φ3.0m×深さ11.5m	1井
契約電力	低圧電力 40A・kw 力率80% 従量電灯B 20A・kw	
電気設備	流量計 電磁式 最大流量1,140 m <sup>3</sup> /h 過度流量11.4 m <sup>3</sup> /h	1台
	直流電源装置	1台
	テレメーターSAS15子局	1台
消毒設備	薬注ポンプ 定量注入ポンプ 30ml/min 1.0MPa ストローク数300s.p.m	1台
	次亜塩素酸ソーダ貯槽 ポリエチレン φ500mm H=770mm Ve=100ℓ	2台
エンジン	ディーゼルエンジン 4サイクル水冷直列	1台
	燃料タンク 60ℓ	1台
	予備タンク 90ℓ	1台

## (10)賀田第1(南)浄水場

公称能力	1,000 m <sup>3</sup> /日 (認可値)	
経歴	1982年度 (昭和57年度) 竣工 2005年度 (平成17年度) 送水ポンプ及び濁度計更新	
ポンプ室	RC造り(鉄筋コンクリート造) 面積 A=W11.5m×L5m=57.5 m <sup>2</sup>	1室
送水ポンプ	多段渦巻ポンプ (フライホイールカップリング付) φ80×0.5 m <sup>3</sup> /min×87m×15kw 1,800rpm (内予備1台)	2台
逆洗ポンプ	片吸込渦巻きポンプ φ150×2.7 m <sup>3</sup> /min×17m×11kw (内予備1台)	2台
取水ポンプ	水中渦巻きポンプ φ80×1.5 m <sup>3</sup> /min×13m×5.5kw (内予備1台)	2台
ポンプ井	RC造り(鉄筋コンクリート造) 内法W6.5m×L5.0m×有効2.0m Ve=65 m <sup>3</sup>	1池
契約電力	低圧電力 35A・kw 力率90% 従量電灯B 15A・kw	
ろ過器	小型凝集沈殿浄化装置 20 m <sup>3</sup> /h	2台
電気設備	濁度測定装置 表面散乱光測定方式	1台
	自動通報装置	1台
	濁度計	1台
	テレメーターSAS55子局	1台
消毒設備	薬注ポンプ 定量注入ポンプ 30ml/min 1.0MPa ストローク数300s.p.m	1台
	次亜塩素酸ソーダ貯槽 ポリエチレン Ve=200ℓ	1台

## (11)賀田第2加圧ポンプ場

公称能力	1,396 m <sup>3</sup> /日 (最大流量)	
経歴	1999年度 (平成11年度) 加圧ポンプ取替 2005年度 (平成17年度) 加圧ポンプ取替	
ポンプ室	RC造り(鉄筋コンクリート造) 面積 A=W13.5m×L13.5m=182.3 m <sup>2</sup>	1室
加圧ポンプ	多段渦巻きポンプ バランスディスク形 φ100×0.97 m <sup>3</sup> /min×60m×18.5kw 1,800rpm (内予備1台)	2台
ポンプ井	RC造り(鉄筋コンクリート造) 内法 W5.4m×L5.4m×有効3.0m Ve=87.5 m <sup>3</sup> ×4池=350 m <sup>3</sup>	4池
契約電力	低圧電力 27A・kw 力率90% 従量電灯 B 20A・kw	
電気設備	加圧タンク 第二種圧力容器 φ2.7m×L6.5m Ve=37.2 m <sup>3</sup> 最高使用圧 7.1kg/c m <sup>2</sup> 最低使用圧 6.0kg/c m <sup>2</sup>	1台
	自動通報装置	1台
	直流電源装置	1台
	流量計	1台
	テレメーターSAS15子局	1台
エンジン	ディーゼルエンジン	1台
	燃料タンク 90ℓ	1台

## (12)古江加圧ポンプ場

公称能力	1,008 m <sup>3</sup> /日 (最大流量)	
経歴	2008年度 (平成20年度) 電気計装盤取替 2020年度 (令和元年度) 加圧ポンプ取替	
ポンプ室	RC造り(鉄筋コンクリート造) 面積 A=W13.5m×L6m=81 m <sup>2</sup>	1室
加圧ポンプ	多段渦巻ポンプ バランスディスク形 φ80×0.7 m <sup>3</sup> /min×63m×15kw 1,800rpm (内予備1台)	2台
ポンプ井	RC造り(鉄筋コンクリート造) 内法 W12m×L6m×有効3.0m Ve=216 m <sup>3</sup>	1池
契約電力	低圧電力 21A・kw 力率90% 従量電灯 B 20A・kw	
電気設備	コンプレッサー 3.7kw オイルフリーベビコン 0.93MPa 850rpm 405ℓ /min	1台
	加圧タンク 圧力容器(横円筒型) φ2.2m×L4.5m Ve=19.3 m <sup>3</sup> 9kg/c m <sup>2</sup> 胴板19mm 鏡板19mm	1台
	自動通報装置	1台
	直流電源装置	1台
	流量計	1台
	テレメーターSAS15子局	1台
	投込式 水位計	1台
エンジン	ディーゼルエンジン 4サイクル水冷式	1台
	燃料タンク 90ℓ	1台

## (13)賀田配水池

公称能力	247.6 m <sup>3</sup> (貯水量)	
経歴	2006年度(平成18年度) 投込圧力式水位計更新 2017年度(平成29年度) 配水流量計取替	
配水池	RC造り(鉄筋コンクリート造) 内法 W9m×L5m×有効 2.75m=123.8 m <sup>3</sup> Ve=123.8×2池=247.6 m <sup>3</sup>	2池
電気設備	水位計 投込圧力式 DC4~20mA	1台

## (14)曾根浄水場

公称能力	84 m <sup>3</sup> /日 (認可値)	
経歴	1954年度(昭和29年度) 竣工	
配水池	RC造り(鉄筋コンクリート造) 内法 W7.3m×L6.0m×有効 2.3m=100.7 m <sup>3</sup>	1池
契約電力	従量電灯 B 10A・kw(配水池施設) 低圧電力 3A・kw 力率 80%(加圧タンク施設)	
電気設備	加圧タンク φ40mm 2.2kw 0.2 m <sup>3</sup> /min タンク容量 0.5 m <sup>3</sup>	1台
	加圧ポンプ φ40×0.22 m <sup>3</sup> /min×2.2kw ※加圧タンク及び加圧ポンプは配水池とは別の場所に設置	1台
	流量計 φ80 (量水器)	1台
	テレメーターSAS15子局	1台
消毒設備	薬注ポンプ 定量注入ポンプ 30ml/min 1.0MPa ストローク数 300s.p.m	1台
	次亜塩素酸ソーダ貯槽 ポリエチレン Ve=200ℓ	1台

## (15)梶賀浄水場

公称能力	152 m <sup>3</sup> /日 (認可値)	
経歴	1960年度(昭和35年度) 竣工	
沈殿槽	RC造り(鉄筋コンクリート造) 内法 W1.2m×L1.0×3.5m	1池
配水池	RC造り(鉄筋コンクリート造) 内法 W5.0m×L3.0m×有効 H2.6m Ve=39 m <sup>3</sup>	1池
契約電力	従量電灯 B 15A・kw	
電気設備	流量計 φ80 (量水器)	1台
	テレメーターSAS15子局	1台
消毒設備	薬注ポンプ 定量注入ポンプ 30ml/min 1.0MPa ストローク数 300s.p.m	1台
	次亜塩素酸ソーダ貯槽 ポリエチレン Ve=200ℓ	1台

〒519-3671  
三重県尾鷲市矢浜四丁目4番8号  
**尾鷲市水道部**  
電話：0597-23-8271  
FAX：0597-23-8276  
e-mail：suidou@city.owase.lg.jp